

1 章 調査概要

1-1 調査の概要

(1) 調査対象

調査対象（抽出先）は 18 歳以上の町民 1,500 人を無作為に抽出しました。

(2) 調査概況

調査概況は下表のとおりです。

調査期間		調査方法	配布数	回収数	回収率
令和 5（2023）年 10 月 10 日から 令和 5（2023）年 10 月 31 日まで		郵送法	1,500 票	657 票	43.8%
		郵送による回答：579 インターネットによる回答：78			
設 問 概 要	アンケート設問は「個人属性」・「都市施設の利用頻度・移動手段」・「日常の移動」・「居住と災害対策」等について、全 13 問を設定しています。				
	問 1) 年齢 問 2) 家族構成 問 3) 居住地 問 4) 永住意向 問 5) 各施設の利用頻度と主な移動手段 問 6) 中心部に必要な施設となくともよい施設 問 7) 自治センターの活用方法		問 8) 自家用車の所有状況 問 9) 送迎してくれる人の状況 問 10) 乗り合いタクシーの利用状況 問 11) 徒歩による移動可能時間 問 12) ハザードエリアにおける居住や都市機能立地の考え方 問 13) まちづくりに関する意見		

※地域別は都市計画区域を有する甲山・大田地区と、この両地区を除く旧町単位で分類

※年代別は若者世代（40 代以下）、中年世代（50 代・60 代）、シニア世代（70 代以上）で分類

次項からの調査結果は、一部省略しています。

2章 調査結果（一部省略）

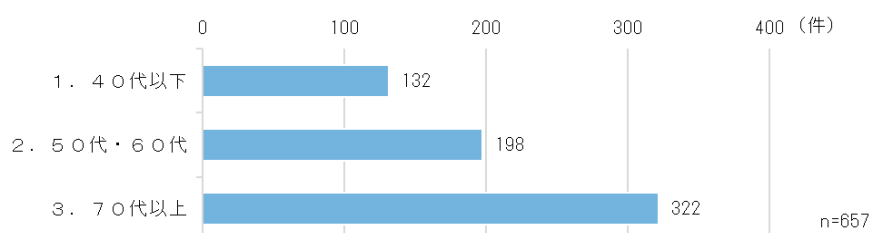
2-1 あなた（回答者）ご自身のことについて

問1. あなたの年齢はおいくつですか。（一つだけ）

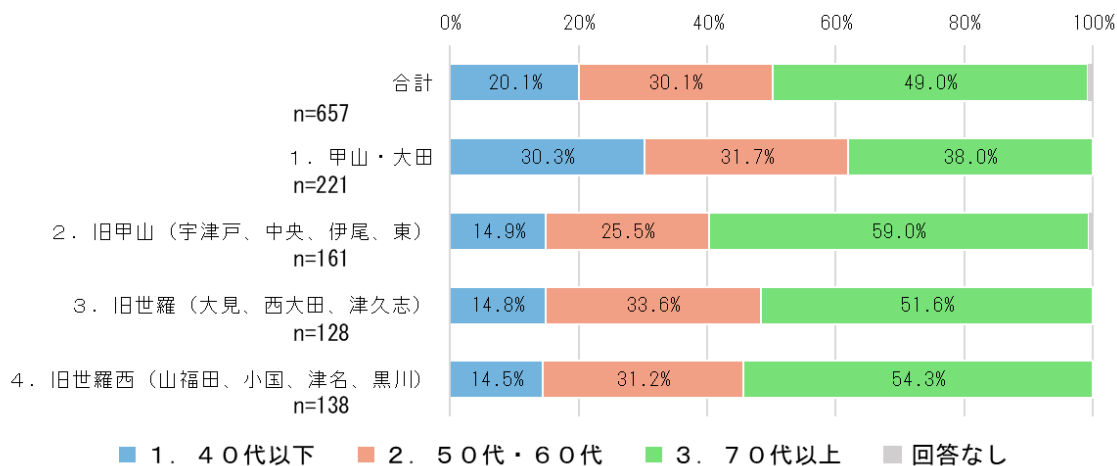
回答結果を見ると、70代以上の回答者が全体の約5割を占め、地域別に見ても全ての地域で70代以上が最多となっています。

回答者数が多い甲山・大田地区（都市計画区域を有する地区）では、40代以下の割合が約3割で他地区と比べやや高くなっています。

【年代別】



【地域別】



※5.0%未満のラベルは省略

問4. 現在お住まいの地域にずっと住み続けたいと思うか、当てはまるものをお選びください。（一つだけ）
また、「4. できれば町内の他の地域に移りたい」と回答した方は、移りたい地域の番号を問3から一つ選んで記入してください。（空欄でも結構です。）

回答者の8割弱が、現在の居住地域に住み続けることを希望しています。

甲山・大田地区は、「できれば町内の他の地域に移りたい」との回答はなく、他地域から移り住みたいとの回答が7人あります。

年代が上がるほど現在の地域での居住継続を希望する回答者が多くなっています。

【地域別】

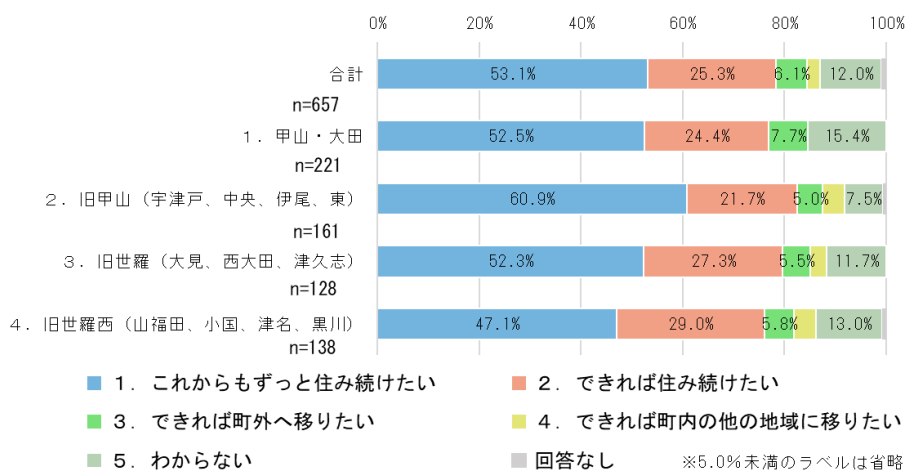


図 地域別 現在の居住地域に住み続けるかの意向

【年代別】

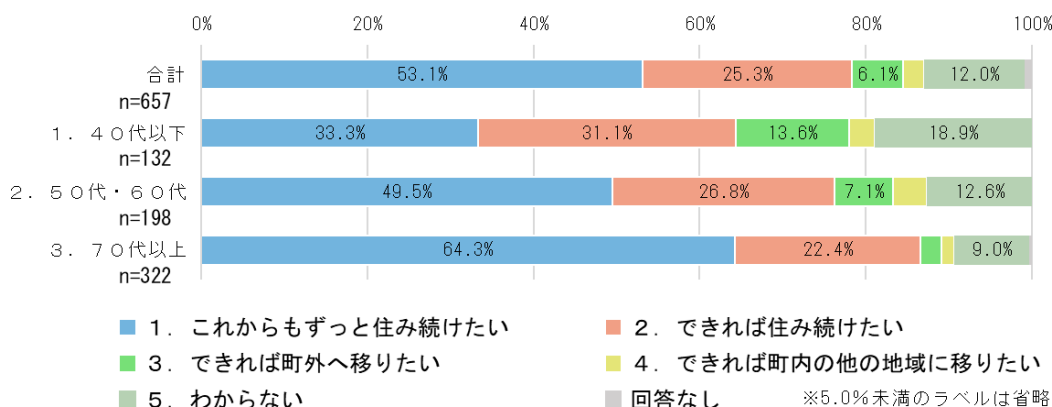


図 年代別 現在の居住地域に住み続けるかの意向

2-2 世羅町に立地する施設について

◎世羅町内には、商業施設や公共公益施設などが立地していますが、今後も町民の皆様がより快適なサービスを受けられるよう、それらの施設の立地を緩やかに誘導していく必要があります。

以上を踏まえ、以下の設問にお答えください。

問5. つぎの施設について、それぞれの利用頻度と主な移動手段を教えてください。

(1) 利用頻度

利用頻度が最も高い施設は、食料品・日用品の店舗で、8割弱の回答者が週に1～2日以上利用しています。

その他、月1～2日以上の利用が半数を超えている施設は、ホームセンター、コンビニエンスストア、病院、診療所、銀行や郵便局などの金融機関となっています。

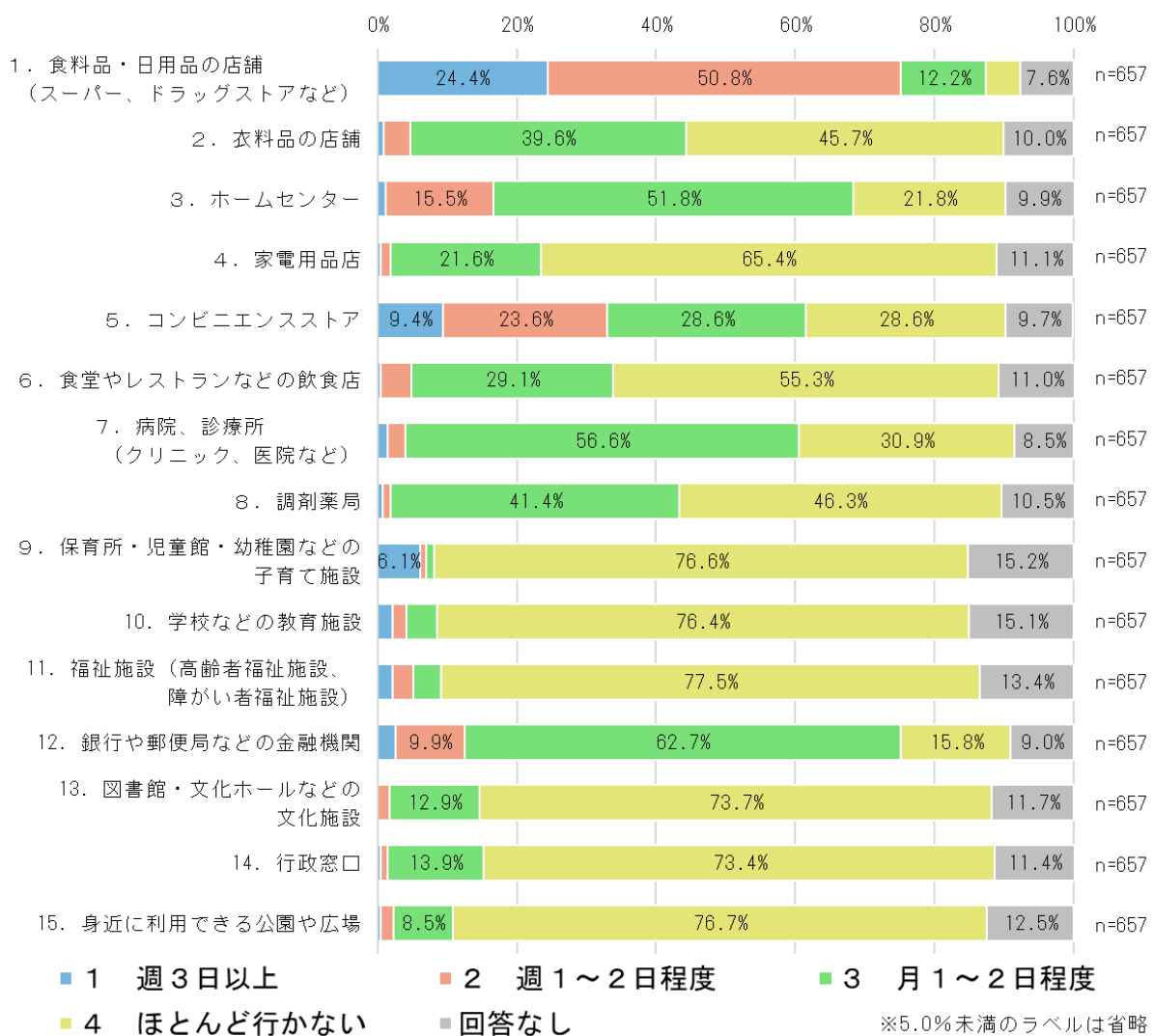


図 施設の利用頻度

以下に、各施設の利用頻度に係る地域別及び年代別の特徴を整理しています。

施設	地域別の特徴	年代別の特徴
1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）	週3日以上は甲山・大田が最も多く、旧西世羅が最も少ない	70代以上は週3日以上が少ない
2. 衣料品の店舗	顕著な特徴なし	顕著な特徴なし
3. ホームセンター	同上	同上
4. 家電用品店	同上	同上
5. コンビニエンスストア	甲山・大田の頻度が高く、旧世羅西町が低い	40代以下の利用頻度が高く、70代以上が低い
6. 食堂やレストランなどの飲食店	同上	同上
7. 病院、診療所（クリニック、医院など）	顕著な特徴なし	年代が上がるにつれて、利用頻度が高くなる
8. 調剤薬局	旧世羅西の頻度が他地域に比して低い	同上
9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設	甲山・大田の頻度が他地域に比して高い	40代以下の利用頻度が顕著に高い
10. 学校などの教育施設	顕著な特徴なし	同上
11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）	顕著な特徴なし	70代以上の利用頻度が高い
12. 銀行や郵便局などの金融機関	甲山・大田の頻度が他地域に比して高い	40代以下の利用頻度が高い
13. 図書館・文化ホールなどの文化施設	同上	年代が上がるにつれて、利用頻度が低くなる
14. 行政窓口	甲山・大田の頻度が他地域に比してやや高い	顕著な特徴なし
15. 身近に利用できる公園や広場	甲山・大田の頻度が他地域に比して高い	40代以下の利用頻度が顕著に高い

1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）

【地域別】

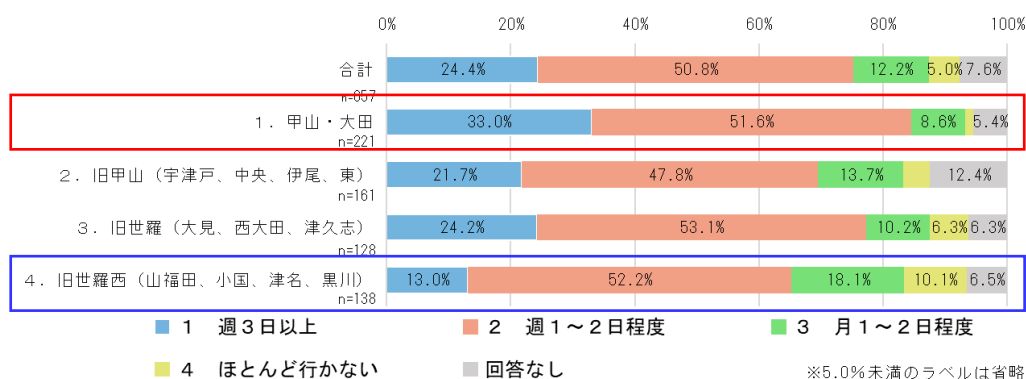


図 地域別 食料品・日用品の店舗の利用頻度

【年代別】

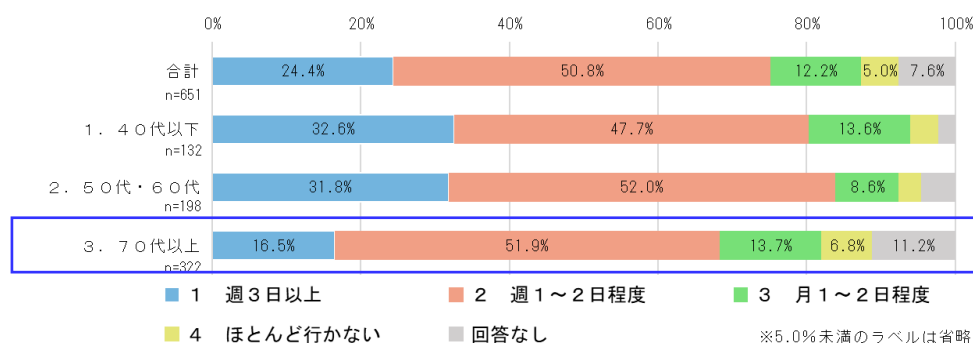


図 年代別 食料品・日用品の店舗の利用頻度

2. 衣料品の店舗

【地域別】

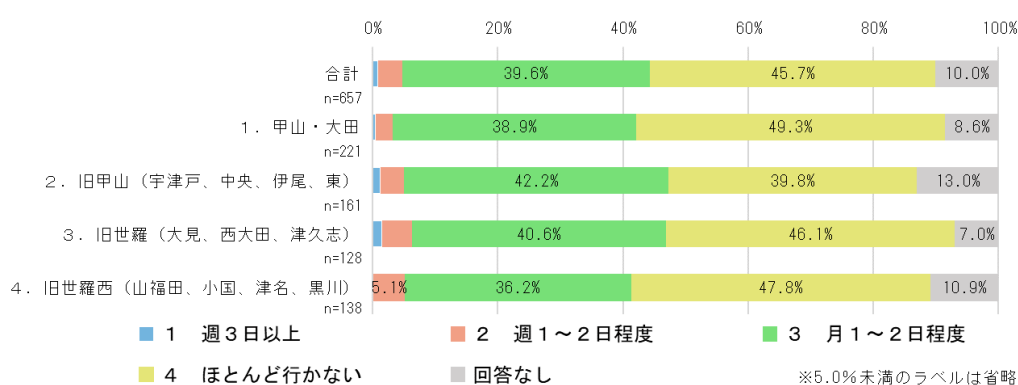


図 地域別 衣料品の店舗の利用頻度

【年代別】

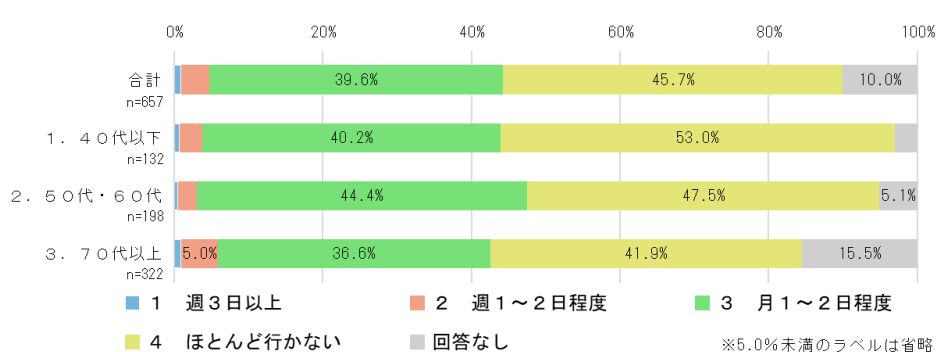


図 年代別 衣料品の店舗の利用頻度

3. ホームセンター

【地域別】

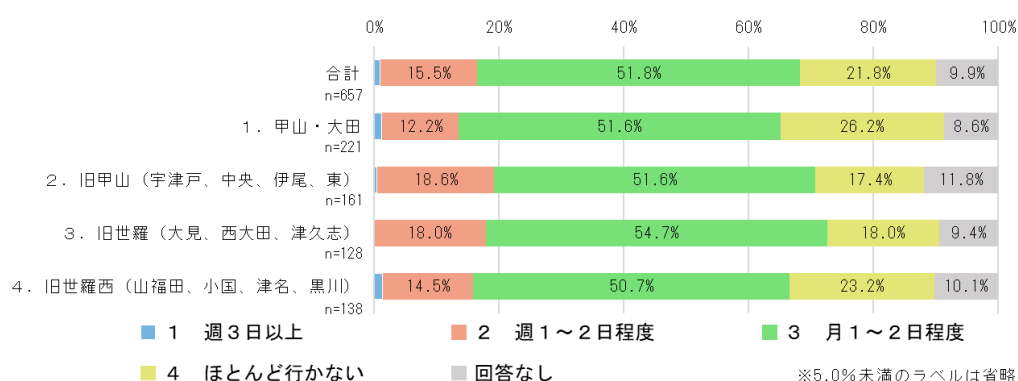


図 地域別 ホームセンターの利用頻度

【年代別】

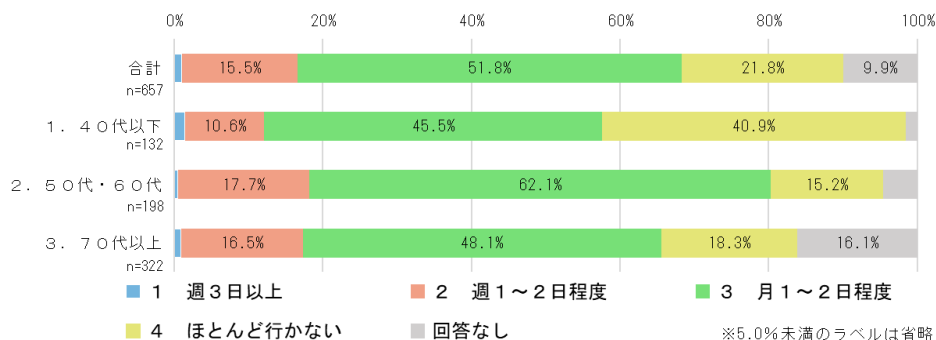


図 年代別 ホームセンターの利用頻度

4. 家電用品店

【地域別】

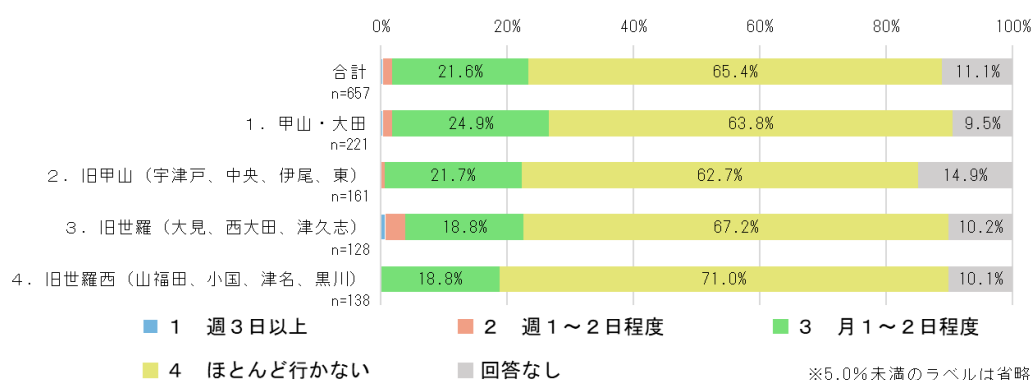


図 地域別 家電用品店の利用頻度

【年代別】

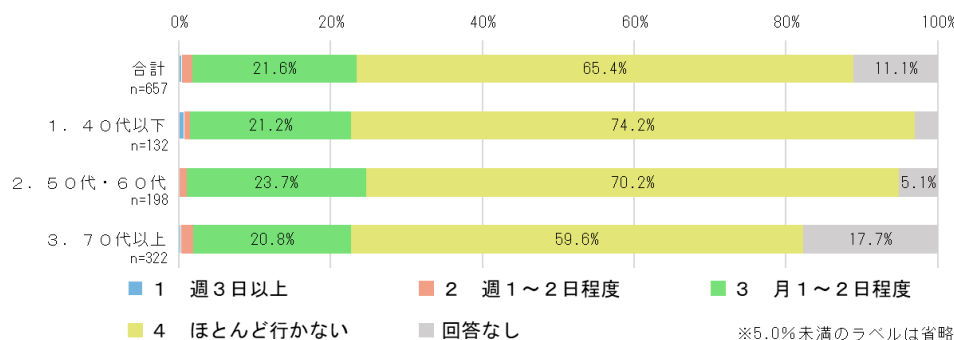


図 年代別 家電用品店の利用頻度

5. コンビニエンスストア

【地域別】

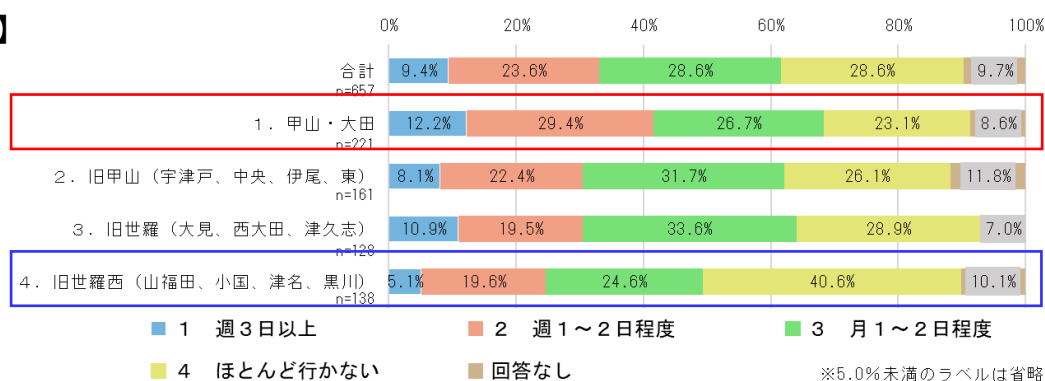


図 地域別 コンビニエンスストアの利用頻度

【年代別】

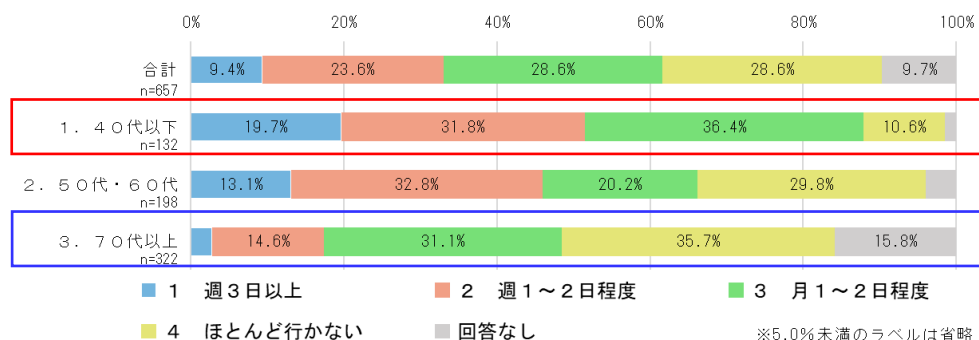


図 年代別 コンビニエンスストアの利用頻度

6. 食堂やレストランなどの飲食店

【地域別】

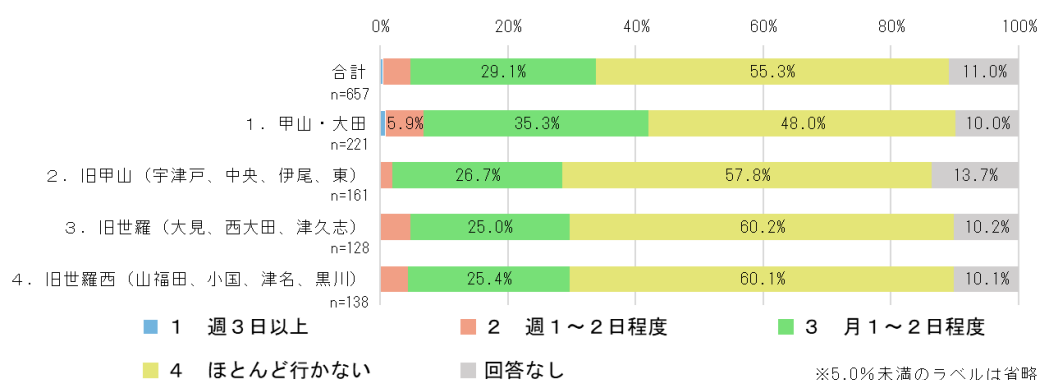


図 地域別 食堂やレストランなどの飲食店の利用頻度

【年代別】

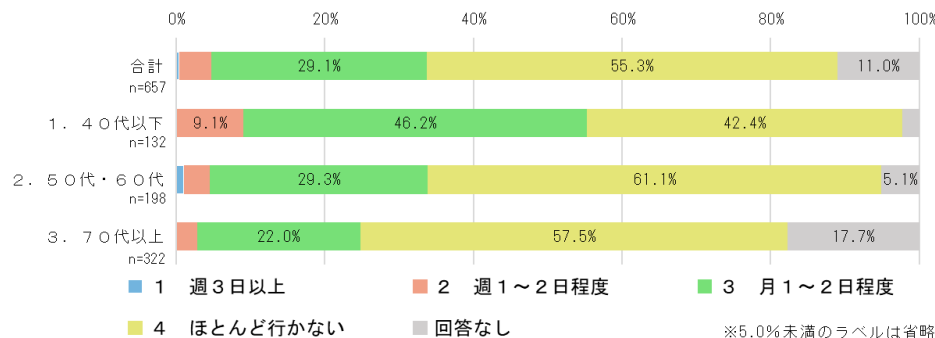


図 年代別 食堂やレストランなどの飲食店の利用頻度

7. 病院、診療所（クリニック、医院など）

【地域別】

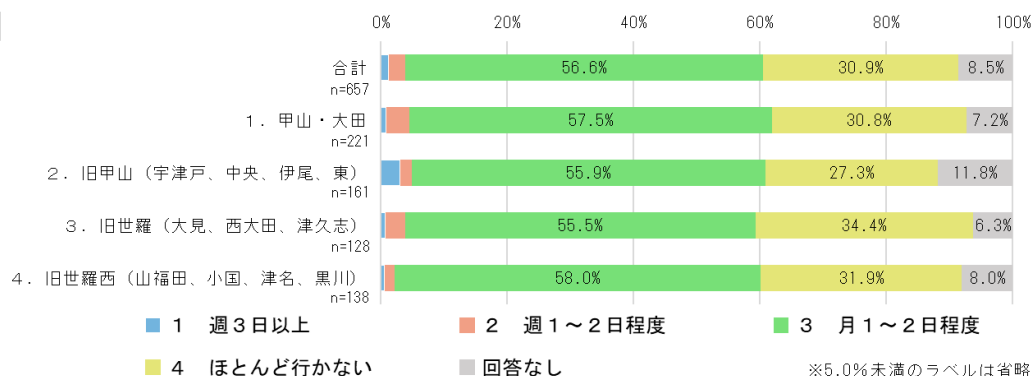


図 地域別 病院、診療所の利用頻度

【年代別】

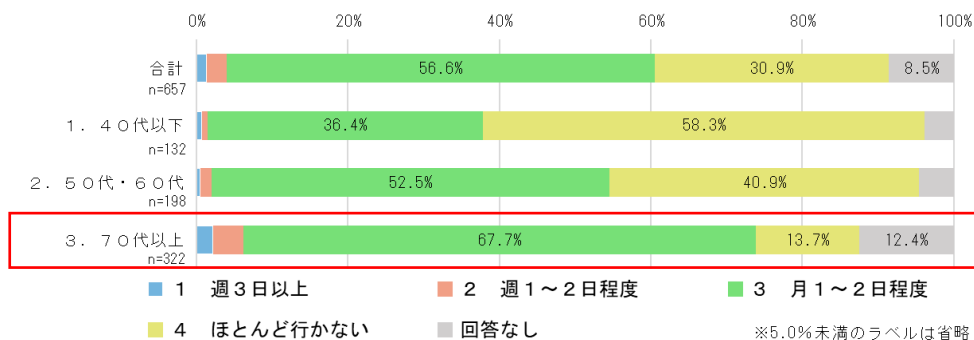


図 年代別 病院、診療所の利用頻度

8. 調剤薬局

【地域別】

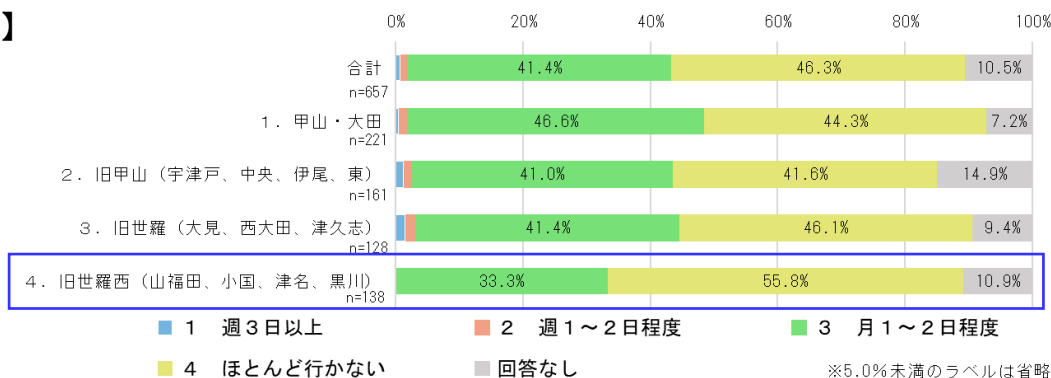


図 地域別 調剤薬局の利用頻度

【年代別】

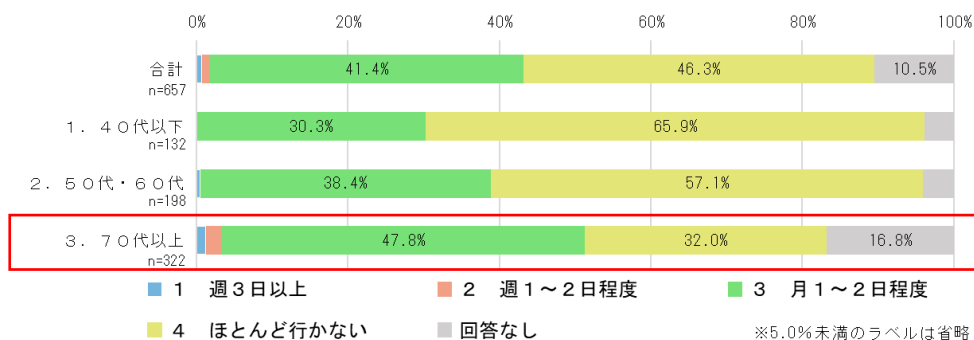


図 年代別 調剤薬局の利用頻度

9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設

【地域別】

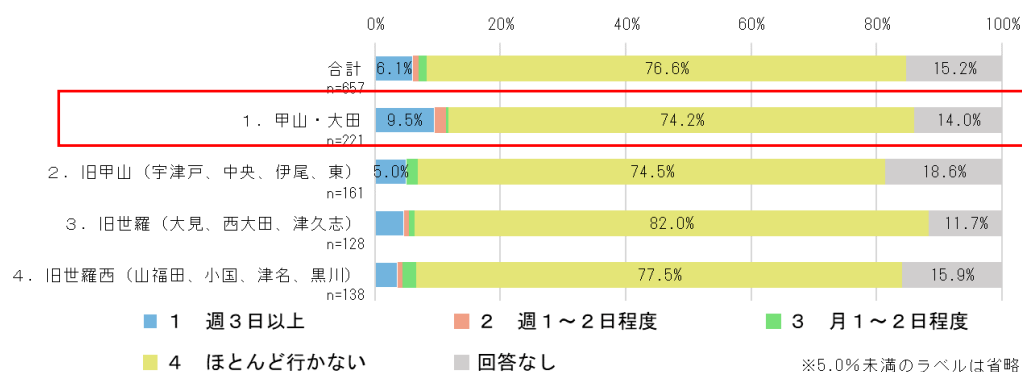


図 地域別 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設の利用頻度

【年代別】

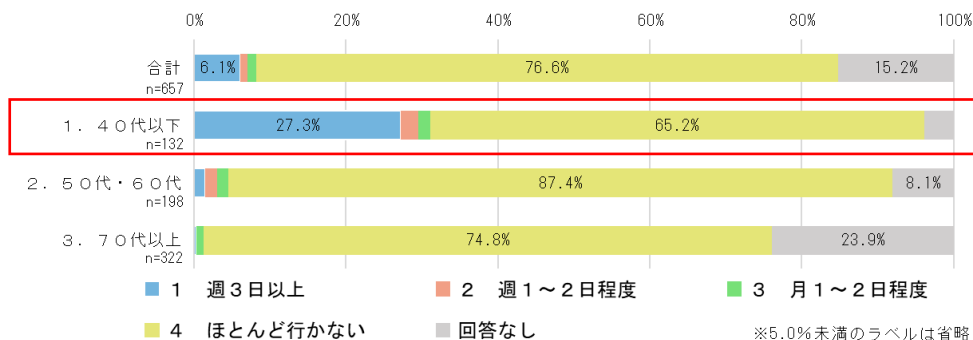


図 年代別 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設の利用頻度

10. 学校などの教育施設

【地域別】

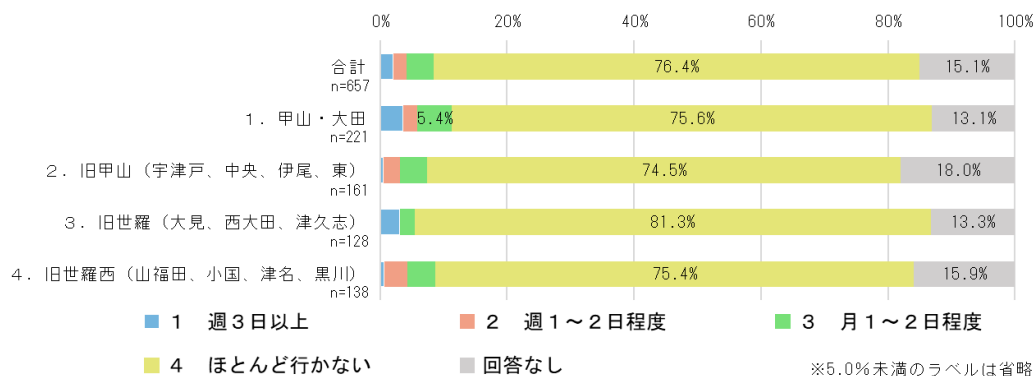


図 地域別 学校などの教育施設の利用頻度

【年代別】

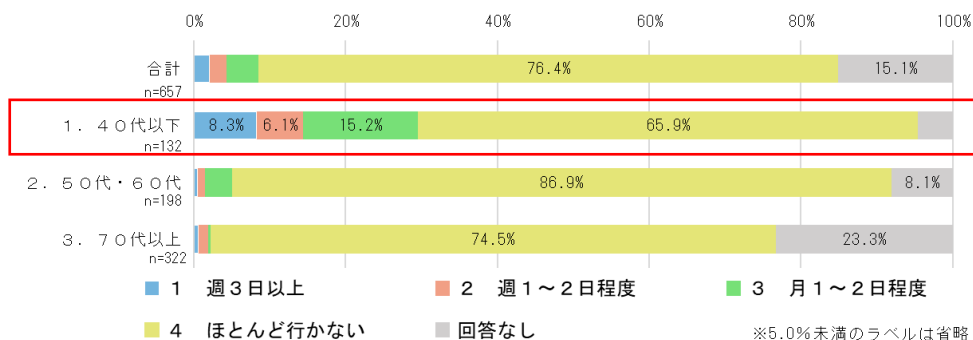


図 年代別 学校などの教育施設の利用頻度

11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）

【地域別】

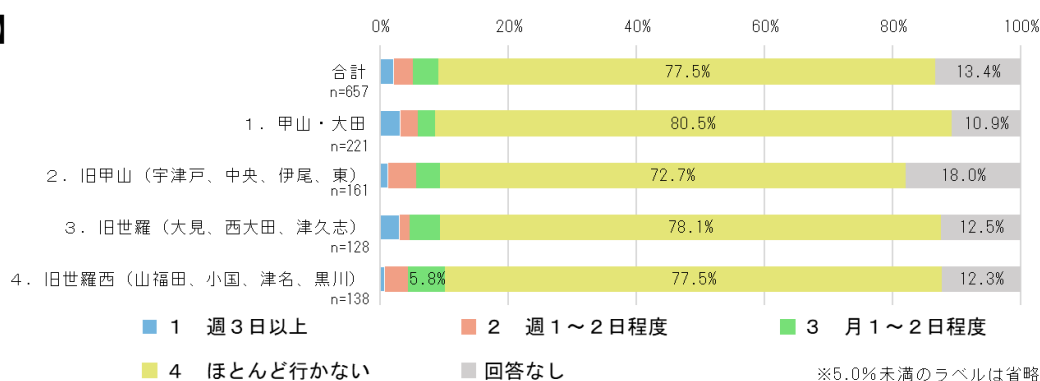


図 地域別 福祉施設の利用頻度

【年代別】

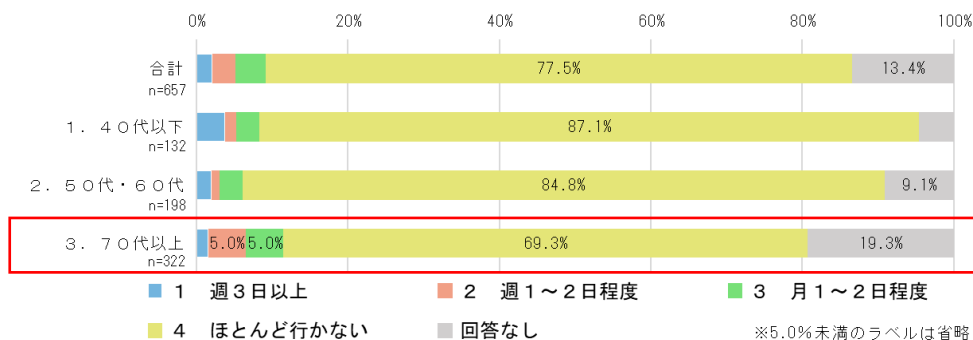


図 年代別 福祉施設の利用頻度

12. 銀行や郵便局などの金融機関

【地域別】

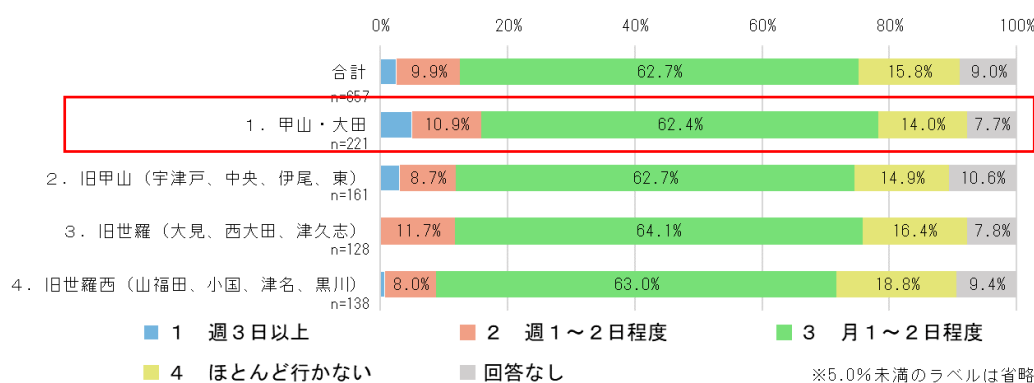


図 地域別 銀行や郵便局などの金融機関の利用頻度

【年代別】

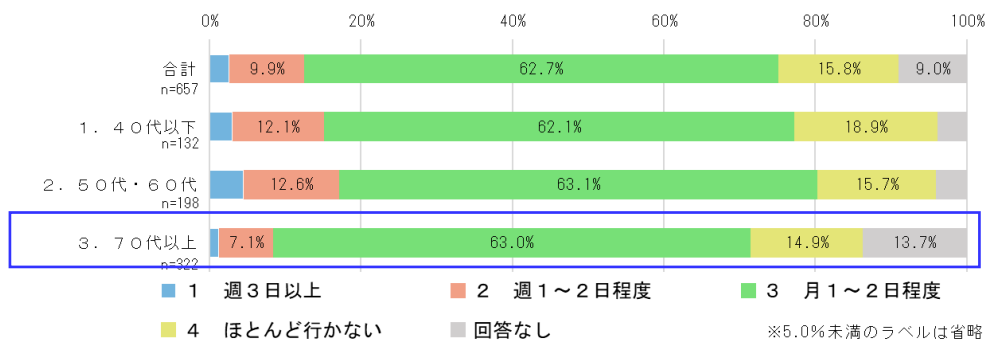


図 年代別 銀行や郵便局などの金融機関の利用頻度

13. 図書館・文化ホールなどの文化施設

【地域別】

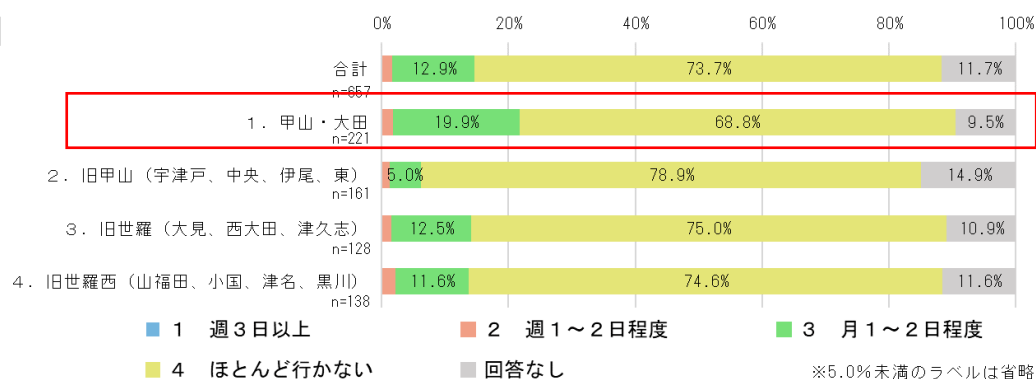


図 地域別 図書館・文化ホールなどの文化施設の利用頻度

【年代別】

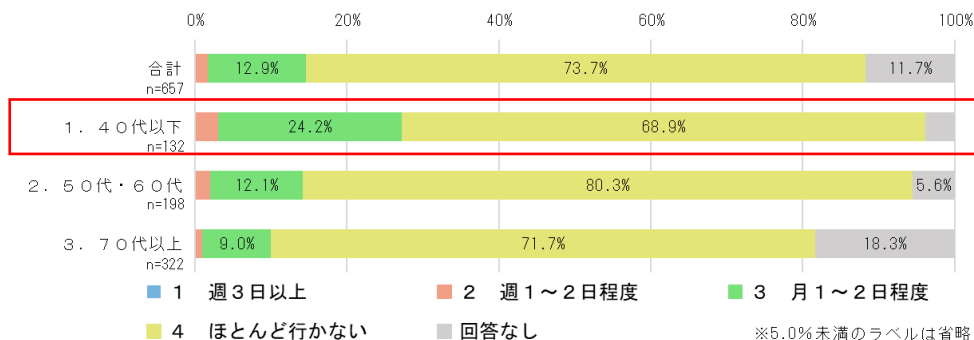


図 年代別 図書館・文化ホールなどの文化施設の利用頻度

14. 行政窓口

【地域別】

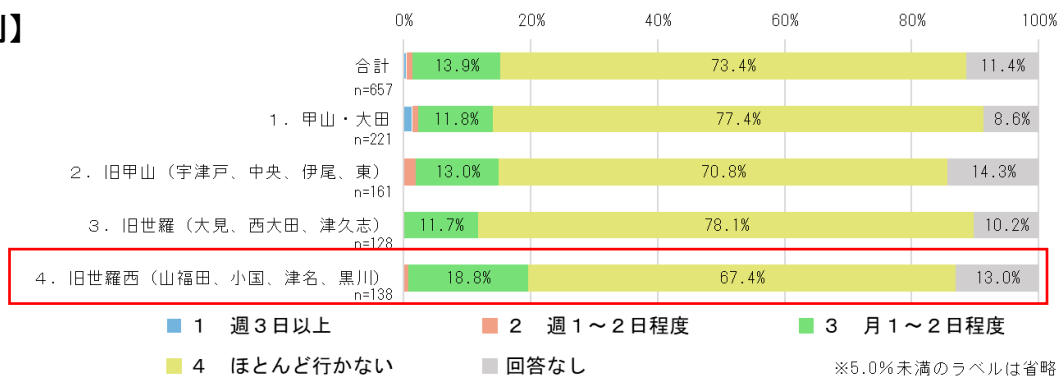


図 地域別 行政窓口の利用頻度

【年代別】

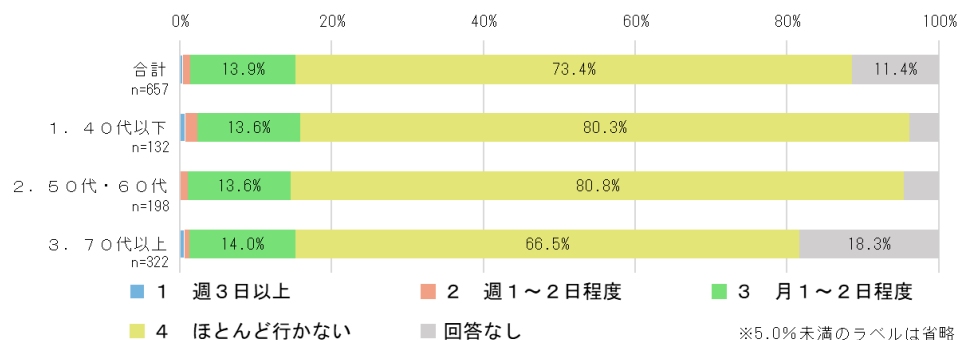


図 年代別 行政窓口の利用頻度

15. 身近に利用できる公園や広場

【地域別】

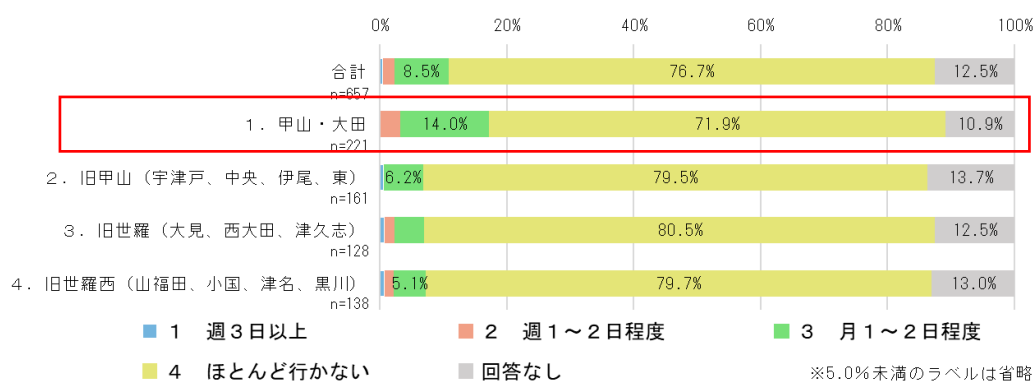


図 地域別 身近に利用できる公園や広場の利用頻度

【年代別】

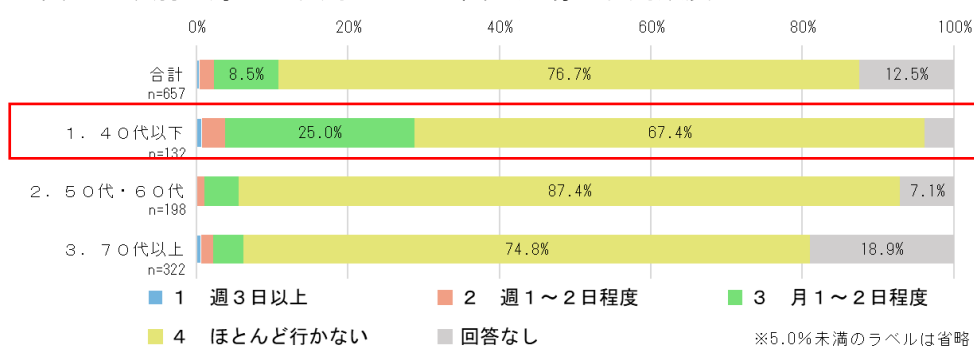


図 年代別 身近に利用できる公園や広場の利用頻度

（２）移動手段

施設への主な移動手段は自家用車が全ての施設において最も多く挙げられ、特に日常的な利用頻度が高い食料品・日用品の店舗へは８割以上が自家用車を利用しています。

いずれの地域及び年代も、自家用車の比率が高いですが、地域別では、甲山・大田が、年代別では７０代以上が、徒歩や自転車の比率が他の地域・世代に比して高くなっています。

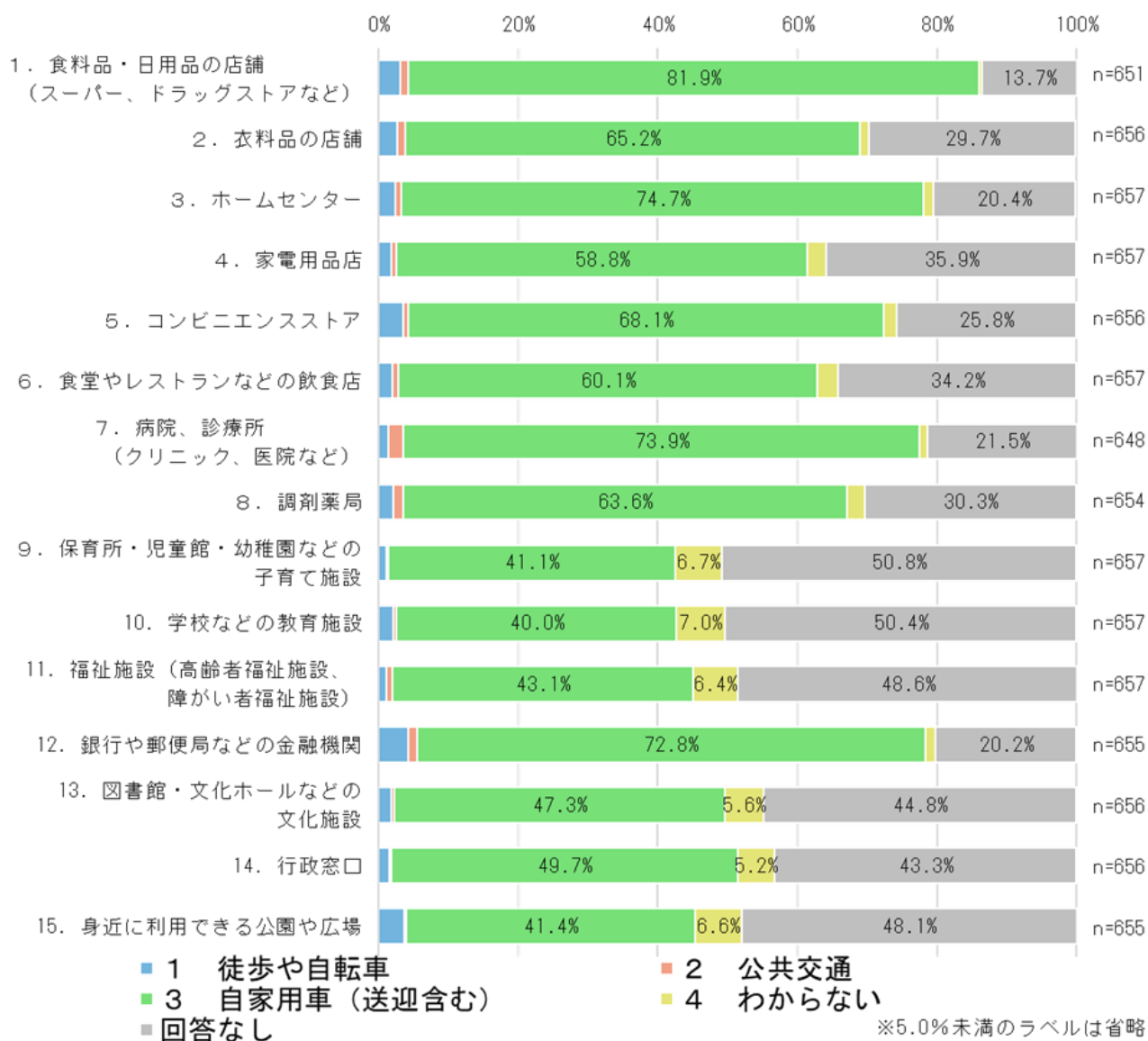


図 施設への主な移動手段

以下に、各施設への主な移動手段に係る地域別及び年代別の特徴を整理しています。

施設	地域別の特徴	年代別の特徴
1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）	甲山・大田は他地域に比して徒歩や自転車の利用が多い	70代以上は他世代に比して徒歩や自転車及び公共交通の利用がやや多い
2. 衣料品の店舗	同上	同上
3. ホームセンター	同上	同上
4. 家電用品店	同上	同上
5. コンビニエンスストア	同上	同上
6. 食堂やレストランなどの飲食店	同上	顕著な特徴なし
7. 病院、診療所（クリニック、医院など）	同上	70代以上は他世代に比して徒歩や自転車及び公共交通の利用がやや多い
8. 調剤薬局	同上	同上
9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設	同上	顕著な特徴なし（70代以上はわからないが多い）
10. 学校などの教育施設	同上	40代以下は他世代に比して徒歩や自転車及び公共交通の利用がやや多い
11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）	旧世羅西は他地域に比して公共交通の利用が多い	顕著な特徴なし
12. 銀行や郵便局などの金融機関	甲山・大田は他地域に比して徒歩や自転車の利用が多い	70代以上は他世代に比して徒歩や自転車及び公共交通の利用がやや多い
13. 図書館・文化ホールなどの文化施設	同上	顕著な特徴なし
14. 行政窓口	同上	70代以上は他世代に比して徒歩や自転車及び公共交通の利用がやや多い
15. 身近に利用できる公園や広場	同上	顕著な特徴なし

※グラフは省略しています

**問5-2 つぎの施設について、現在特に不便で困っている施設があれば教えてください。
(3つまで)**

回答者全体の約2割が、特に不便で困っている施設があると回答しています。

特に不便で困っている施設があると回答した人のうち、食料品・日用品の店舗と回答した人は4割以上で最も多く挙げられ、次いで衣料品の店舗が3割台半ば、病院、診療所が3割強の順となっています。

特に不便で困っている施設があると回答した人をみると、**甲山・大田地区は衣料品が最も多く、他の地域は食料品・日用品が最も多くなっています。**

年代別では、**70代以上では食料品・日用品及び病院・診療所が多く、他の世代は衣料品が最も多くなっています。**

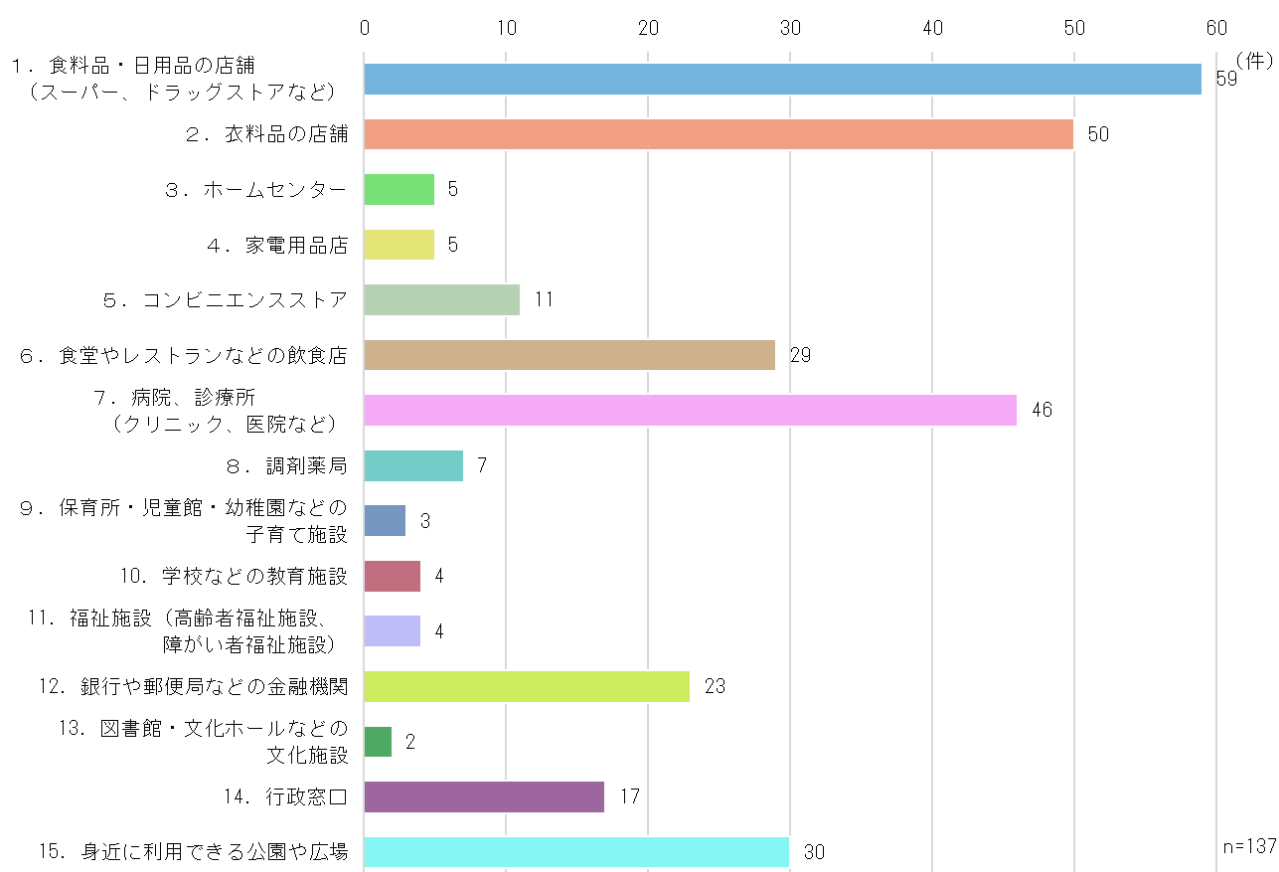


図 特に不便で困っている施設

【地域別】

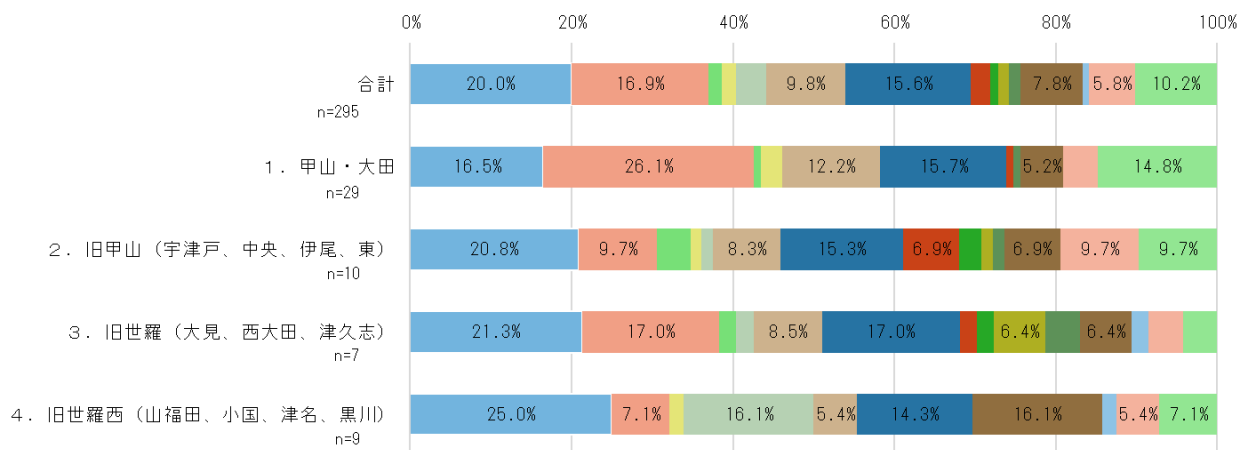


図 地域別 特に不便で困っている施設

【年代別】

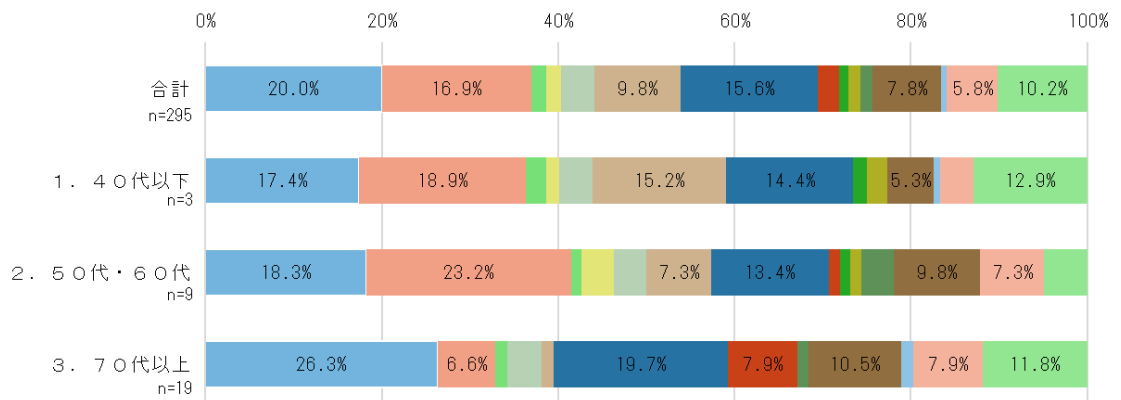


図 年代別 特に不便で困っている施設

- 1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）
- 2. 衣料品の店舗
- 3. ホームセンター
- 4. 家電用品店
- 5. コンビニエンスストア
- 6. 食堂やレストランなどの飲食店
- 7. 病院、診療所（クリニック、医院など）
- 8. 調剤薬局
- 9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設
- 10. 学校などの教育施設
- 11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）
- 12. 銀行や郵便局などの金融機関
- 13. 図書館・文化ホールなどの文化施設
- 14. 行政窓口
- 15. 身近に利用できる公園や広場

※5.0%未満のラベルは省略

**問6. 商業施設や公共施設等の各施設について、現在の有無に関わらず、役場周辺（町中心部）に「必要な施設」と「なくてもよい施設」をお伺いします。
該当する施設の欄に○を記入してください。（それぞれ3つまで）**

役場周辺に必要な施設については、食料品・日用品の店舗、病院、診療所、銀行や郵便局などの金融機関が多く挙げられており、反対にこれらの施設がなくても良いとの回答はごく少数となっています。また、これらの施設は全ての地域、年代において「必要」が、「なくてもよい」を大きく上回っています。

なくても良い施設として多く挙げられたのは、身近に利用できる公園や広場が圧倒的で、必要な施設として挙げた人数を大きく上回っています。

衣料品の店舗や、ホームセンター、コンビニエンスストア、調剤薬局、子育て施設、教育施設、文化施設については、必要と回答した人数と、なくても良いと回答した人数がおおむね均衡しています。

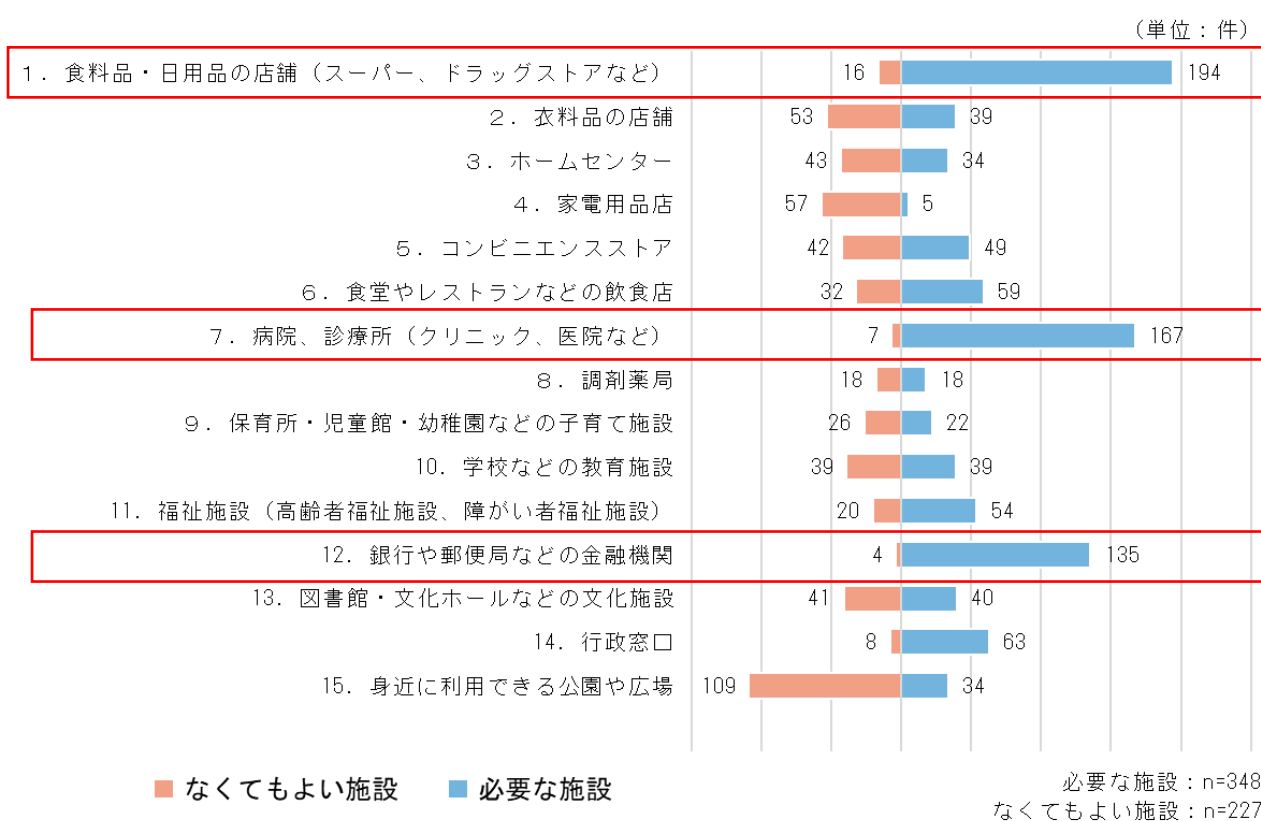
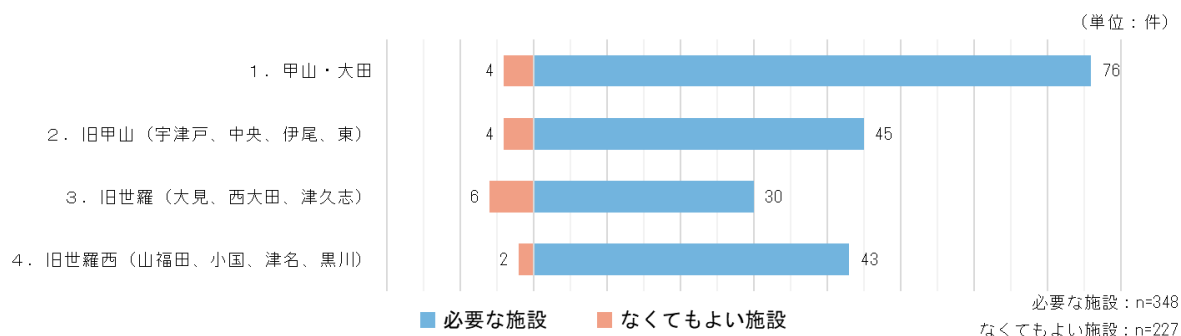


図 役場周辺に必要な施設となくてもよい施設

以下に、各施設への主な移動手段に係る地域別及び年代別の特徴を整理しています。

施設	地域別の特徴	年代別の特徴
1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど）	いずれの地域も必要が大多数	いずれの年代も必要が大多数
2. 衣料品の店舗	旧世羅のみ必要が多数	40代以下のみ必要が多数
3. ホームセンター	旧世羅西のみ必要が多数	50代・60代のみ必要が多数
4. 家電用品店	いずれの地域もなくともよいが大多数	いずれの年代もなくともよいが大多数
5. コンビニエンスストア	いずれの地域も必要・なくともよいが拮抗（甲山・大田、旧世羅西は必要が多数）	40代以下は必要が顕著に多い（50代以上は拮抗）
6. 食堂やレストランなどの飲食店	旧世羅西以外は必要が多数	いずれの年代も必要が多いが、40代以下では特に顕著
7. 病院、診療所（クリニック、医院など）	いずれの地域も必要が大多数	いずれの年代も必要が大多数
8. 調剤薬局	甲山・大田はなくともよいが多数、他は拮抗	40代以下はなくともよいが多数、他は拮抗
9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設	いずれの地域も必要・なくともよいが拮抗（旧世羅はなくともよいが顕著）	40代以下は必要が多数、70代以上はなくともよいが顕著に多数
10. 学校などの教育施設	いずれの地域も必要・なくともよいが拮抗	いずれの年代も必要・なくともよいが拮抗
11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）	甲山・大田は必要・なくともよいが拮抗、他は必要が多数	40代以下はなくともよいが多数、他は必要が多数
12. 銀行や郵便局などの金融機関	いずれの地域も必要が大多数	いずれの年代も必要が大多数
13. 図書館・文化ホールなどの文化施設	いずれの地域も必要・なくともよいが拮抗	60代以下は必要が多数、70代以上はなくともよいが多数
14. 行政窓口	いずれの地域も必要が大多数	いずれの年代も必要が大多数
15. 身近に利用できる公園や広場	いずれの地域もなくともよいが多数	40代以下は必要が多数、50代以上はなくともよいが顕著に多数

1. 食料品・日用品の店舗（スーパー、ドラッグストアなど） 【地域別】



※n=有効回答件数（この施設を選択していない件数も含まれます。）以下同
図 地域別 食料品・日用品の店舗の必要不要

【年代別】

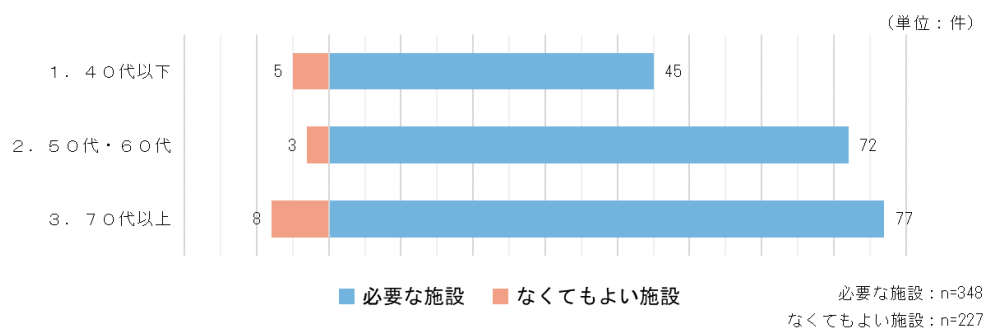


図 年代別 食料品・日用品の店舗の必要不要

2. 衣料品の店舗 【地域別】

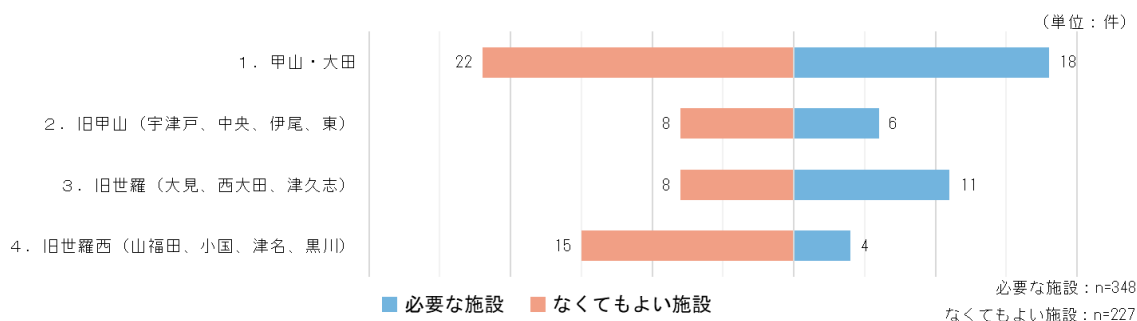


図 地域別 衣料品の店舗の必要不要

【年代別】

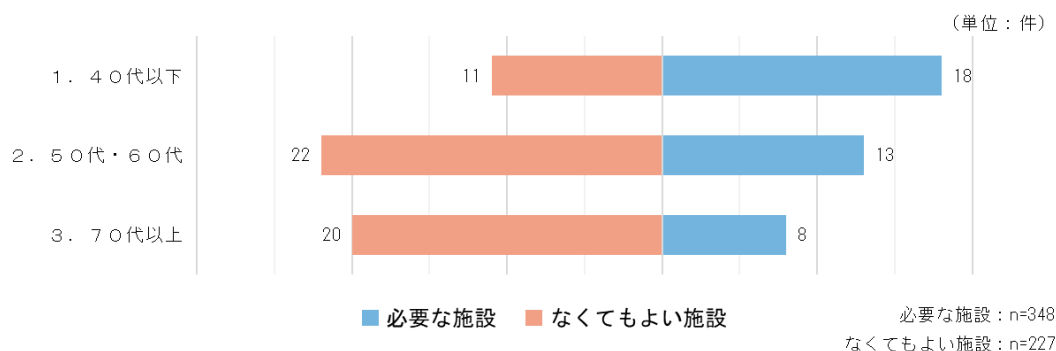


図 年代別 衣料品の店舗の必要不要

3. ホームセンター

【地域別】

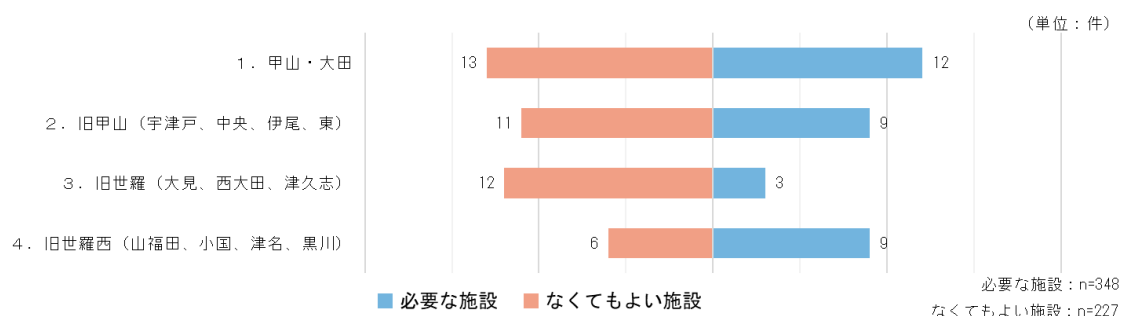


図 地域別 ホームセンターの必要不要

【年代別】

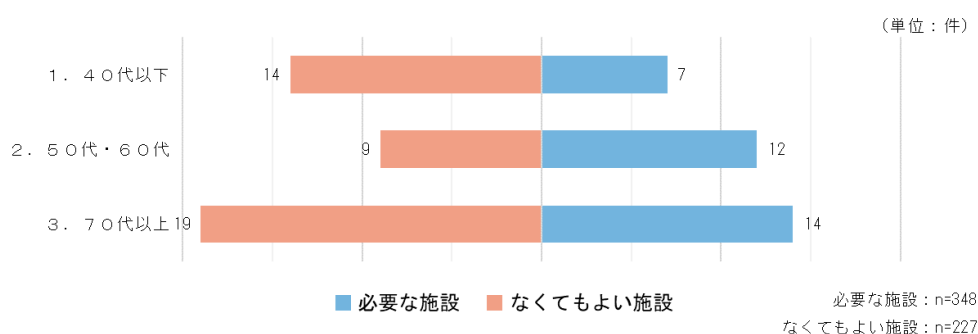


図 年代別 ホームセンターの必要不要

4. 家電用品店

【地域別】

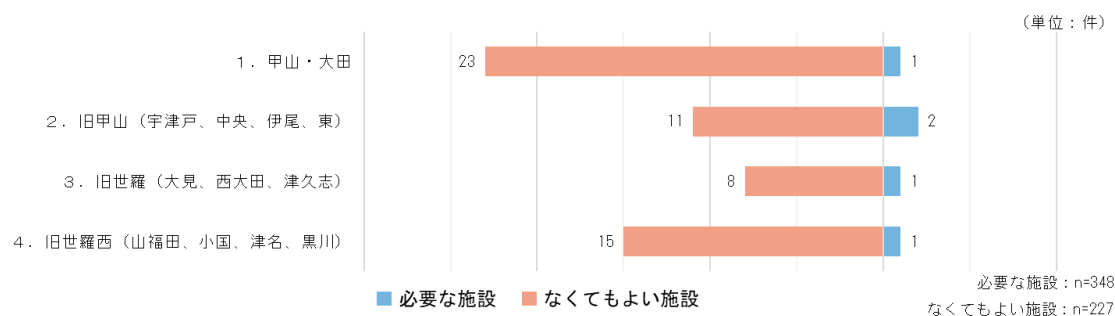


図 地域別 家電用品店の必要不要

【年代別】

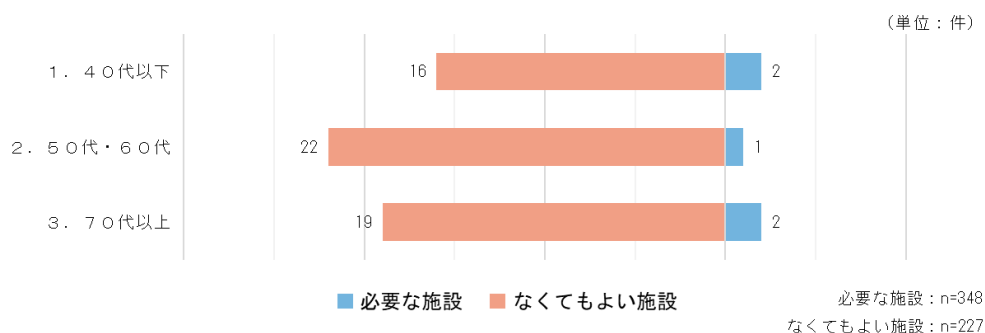


図 年代別 家電用品店の必要不要

5. コンビニエンスストア

【地域別】

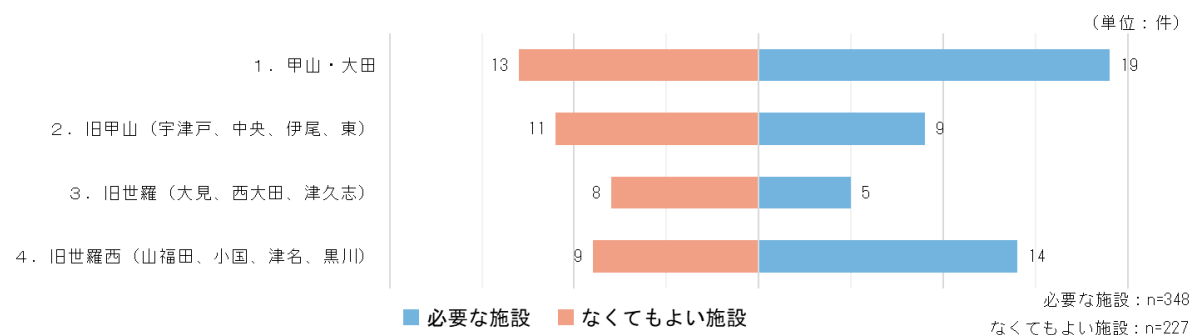


図 地域別 コンビニエンスストアの必要不要

【年代別】

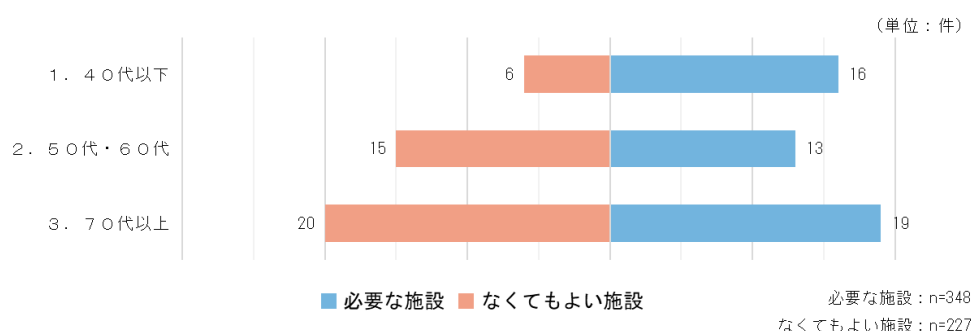


図 年代別 コンビニエンスストアの必要不要

6. 食堂やレストランなどの飲食店

【地域別】

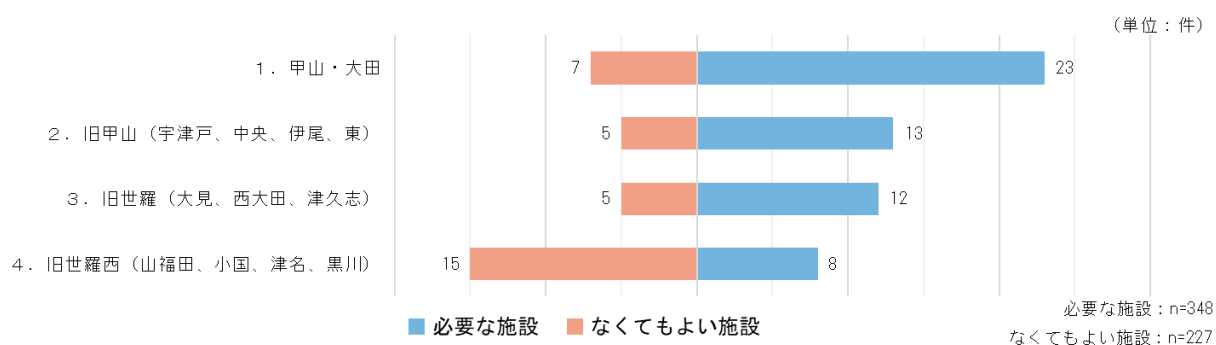


図 地域別 食堂やレストランなどの飲食店の必要不要

【年代別】

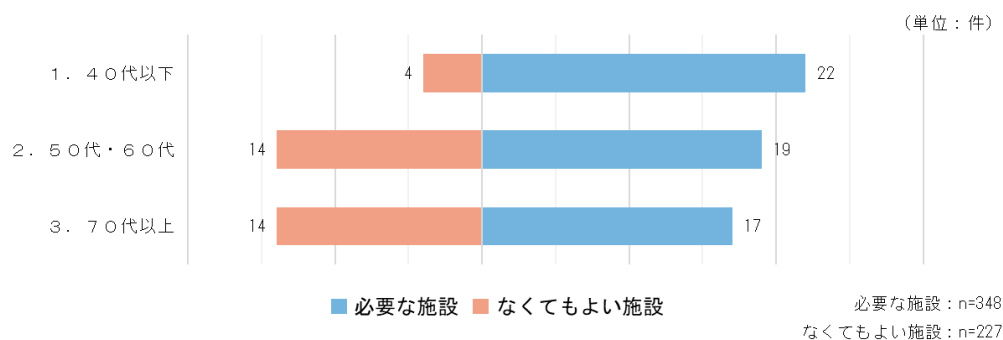


図 年代別 食堂やレストランなどの飲食店の必要不要

7. 病院、診療所（クリニック、医院など）

【地域別】

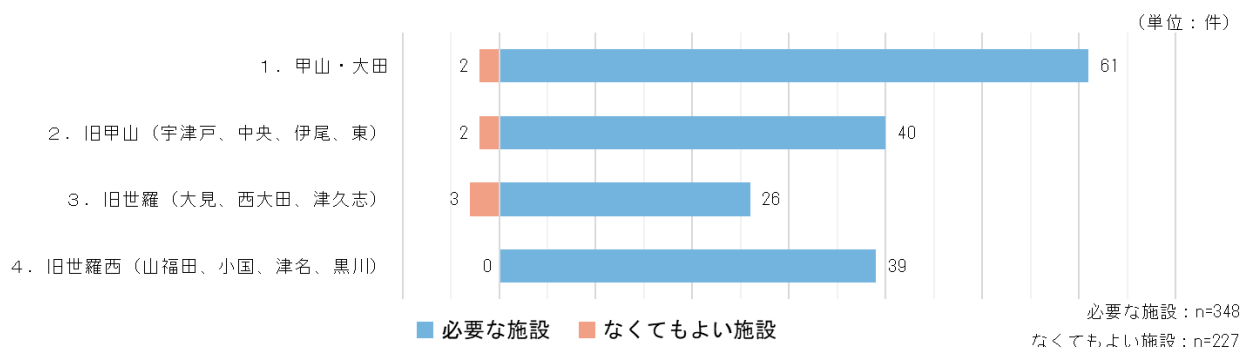


図 地域別 病院、診療所の必要不要

【年代別】

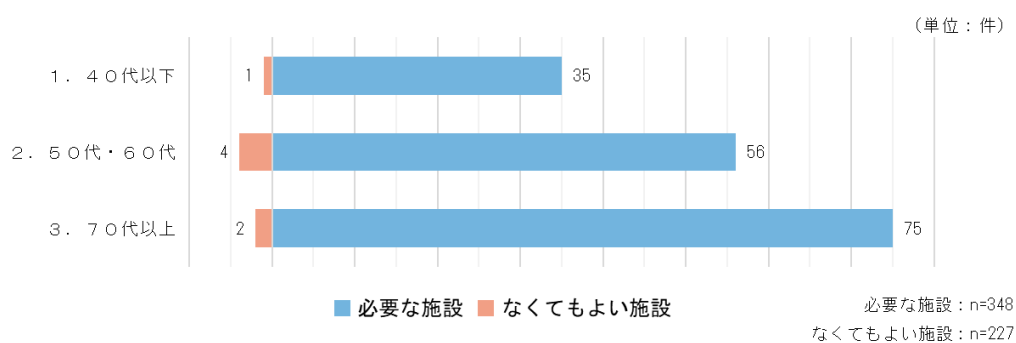


図 年代別 病院、診療所の必要不要

8. 調剤薬局

【地域別】

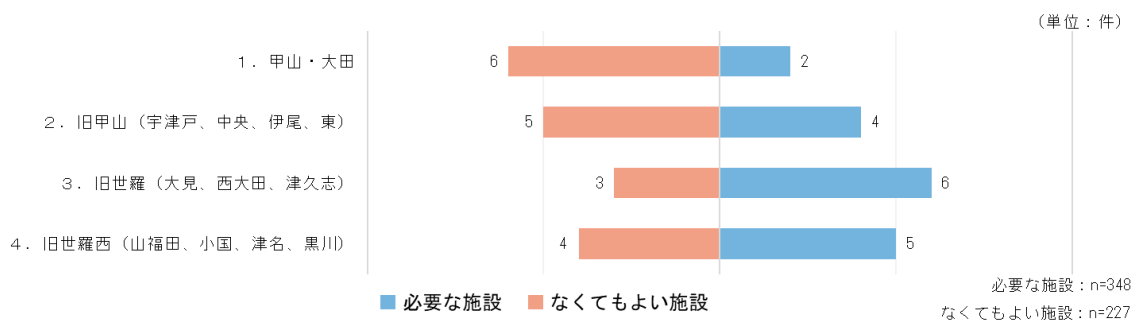


図 地域別 調剤薬局の必要不要

【年代別】

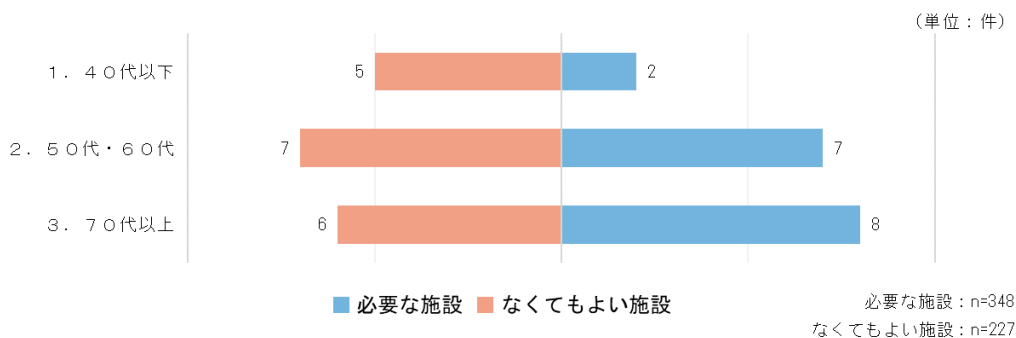


図 年代別 調剤薬局の必要不要

9. 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設

【地域別】

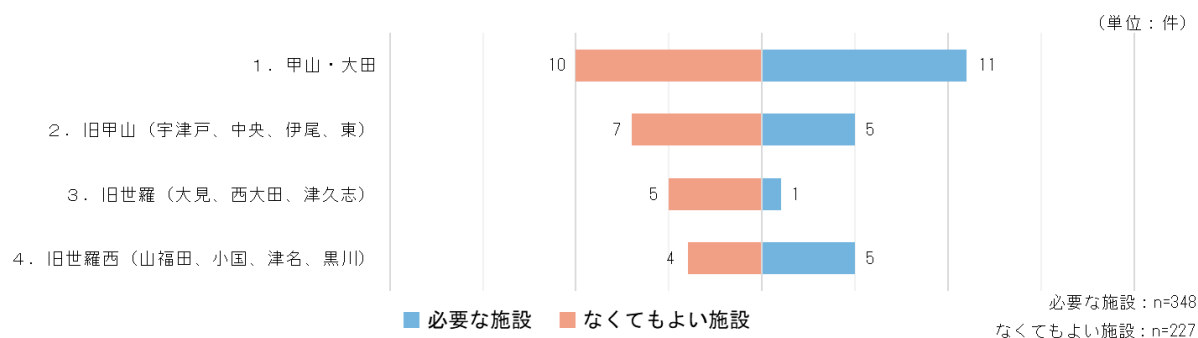


図 地域別 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設の必要不要

【年代別】

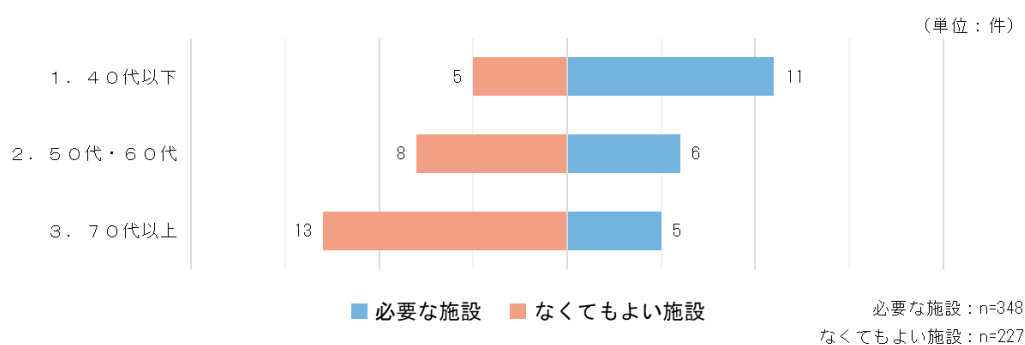


図 年代別 保育所・児童館・幼稚園などの子育て施設の必要不要

10. 学校などの教育施設

【地域別】

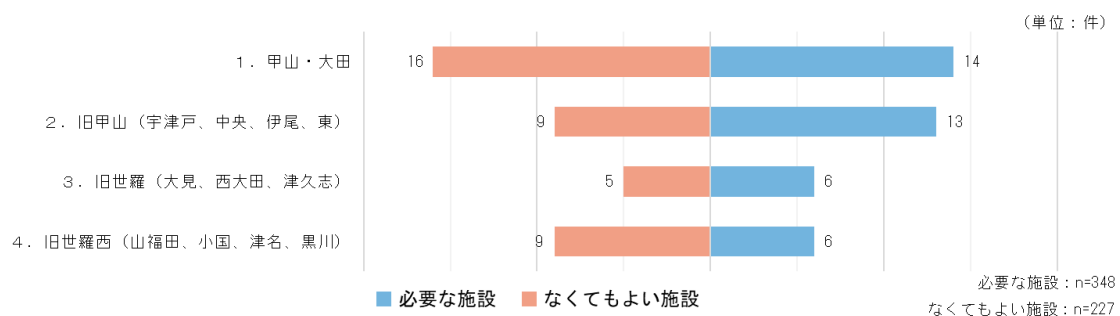


図 地域別 学校などの教育施設の必要不要

【年代別】

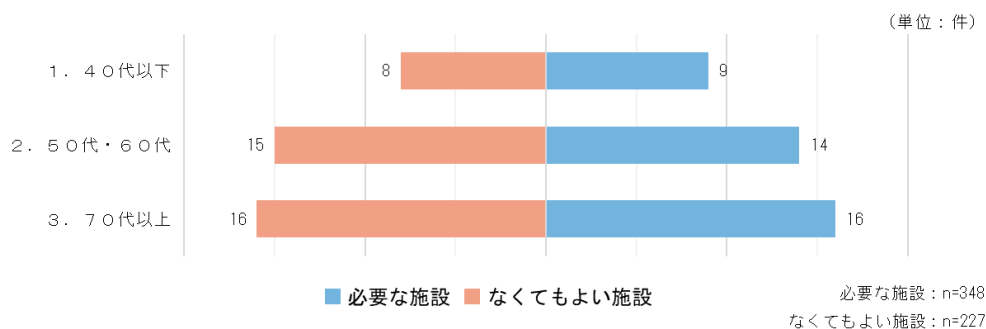


図 年代別 学校などの教育施設の必要不要

11. 福祉施設（高齢者福祉施設、障がい者福祉施設）

【地域別】

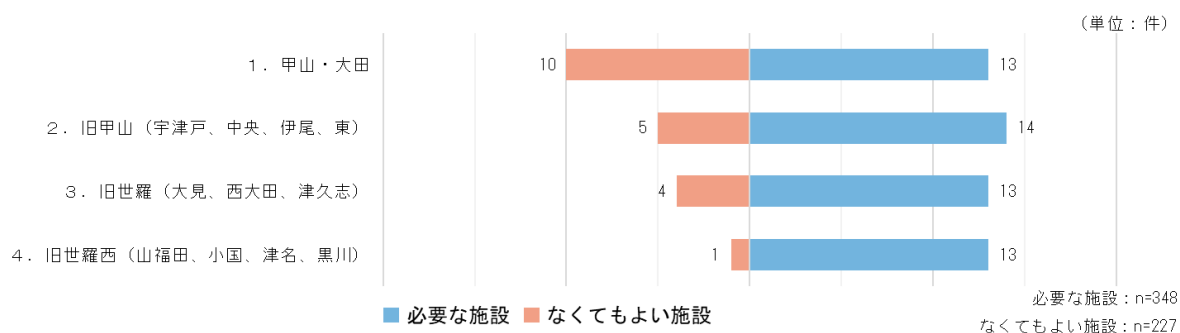


図 地域別 福祉施設の必要不要

【年代別】

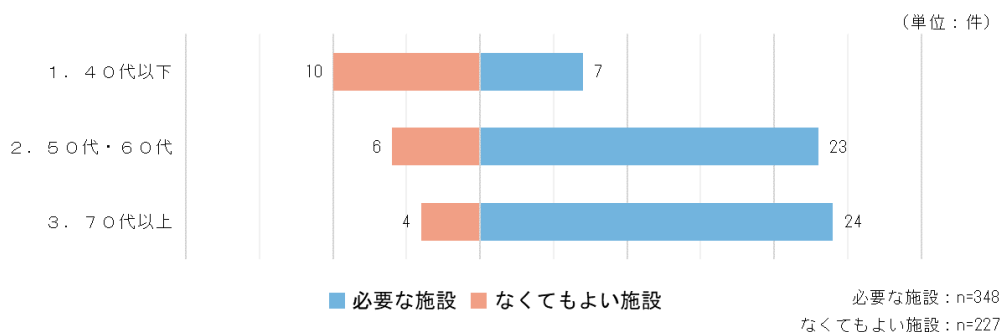


図 年代別 福祉施設の必要不要

12. 銀行や郵便局などの金融機関

【地域別】

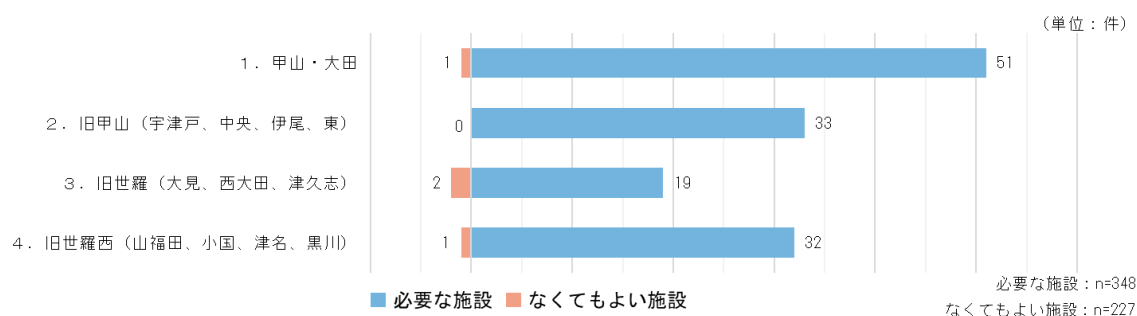


図 地域別 銀行や郵便局などの金融機関の必要不要

【年代別】

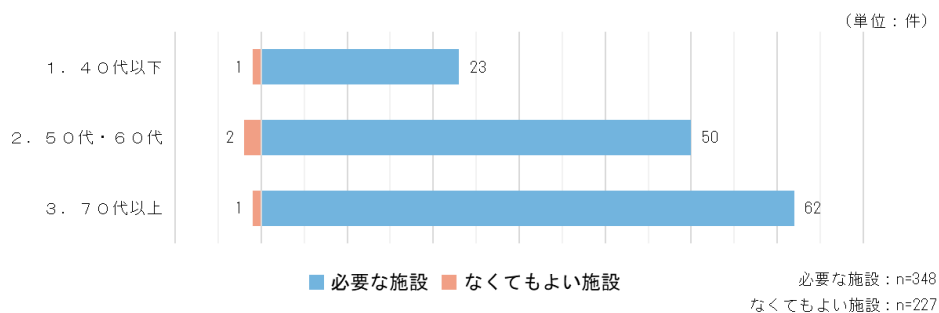


図 年代別 銀行や郵便局などの金融機関の必要不要

13. 図書館・文化ホールなどの文化施設

【地域別】

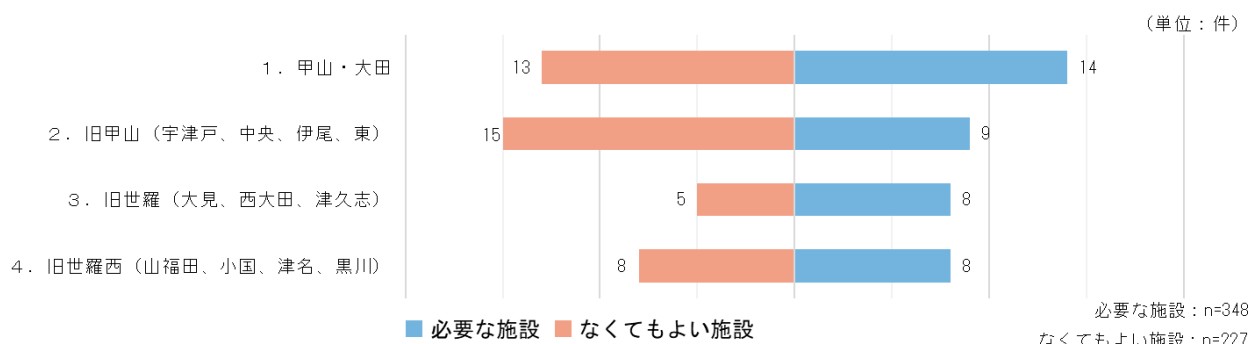


図 地域別 図書館・文化ホールなどの文化施設の必要不要

【年代別】

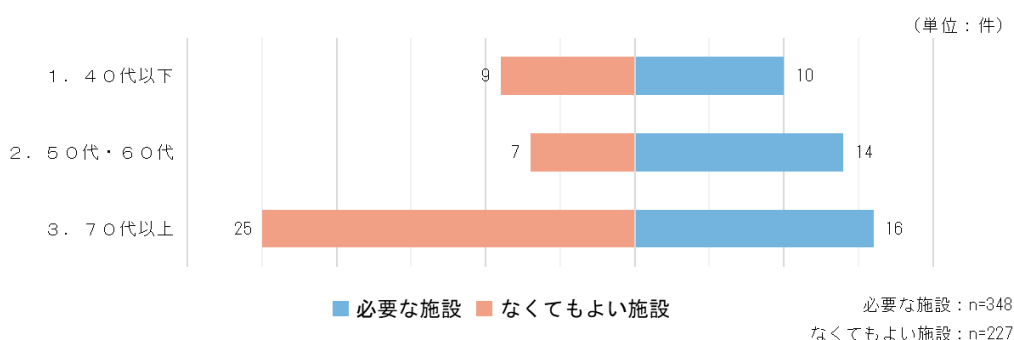


図 年代別 図書館・文化ホールなどの文化施設の必要不要

14. 行政窓口

【地域別】

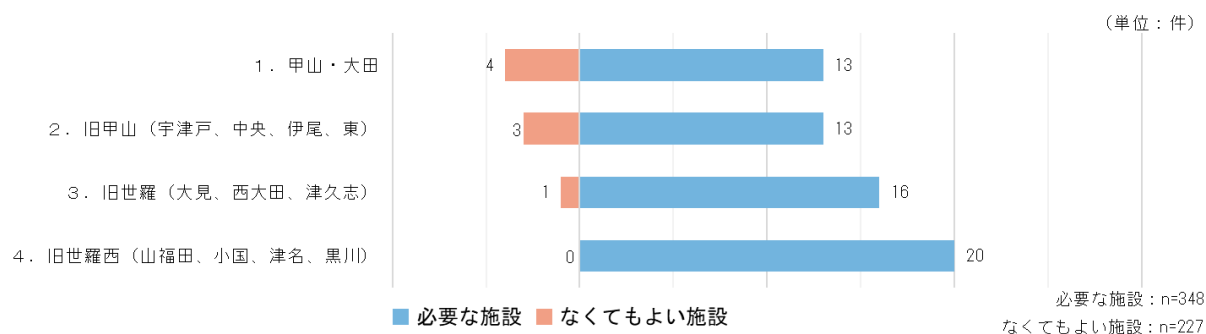


図 地域別 行政窓口の必要不要

【年代別】

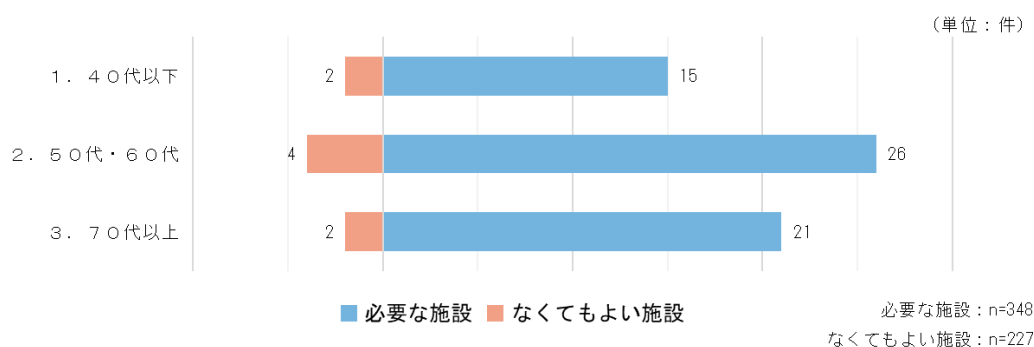


図 年代別 行政窓口の必要不要

15. 身近に利用できる公園や広場

【地域別】

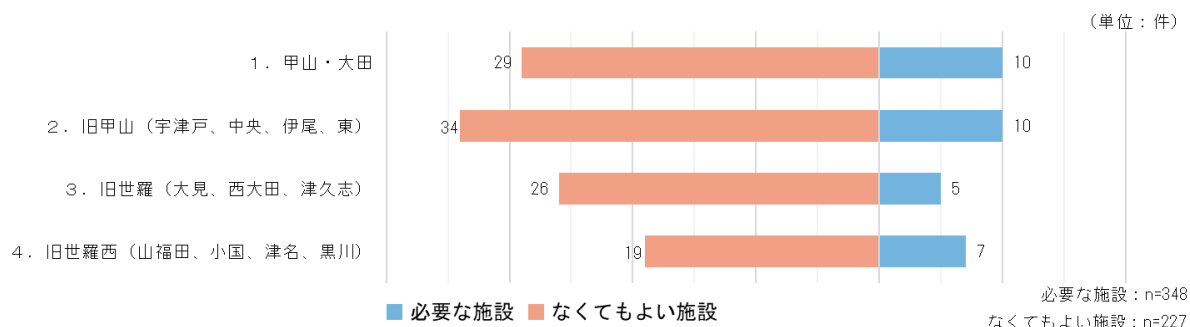


図 地域別 身近に利用できる公園や広場の必要不要

【年代別】

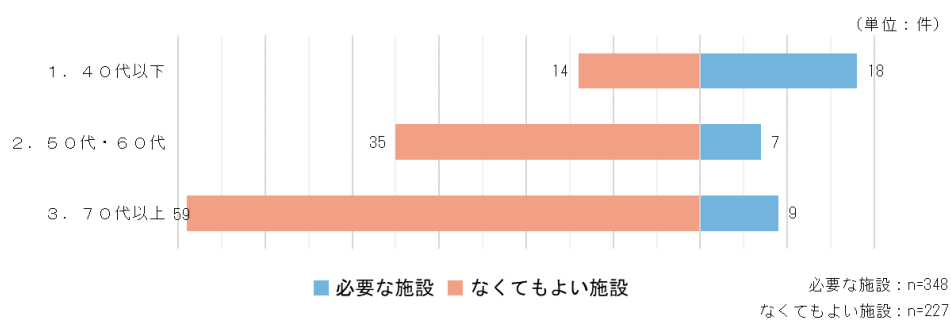


図 年代別 身近に利用できる公園や広場の必要不要

問7. 将来、あなたの住む地域から町中心部へのアクセスについて、各地域の自治センターをより有効的に活用できる方法があればお聞かせください。

この設問に対して、121 件の回答がありました。寄せられた意見等は以下の通りです。なお、回答内容が複数のカテゴリに分かれる場合、回答内容を分割して各カテゴリ内に記載しています。

表 各地域の自治センターの有効活用方法についての意見（概要）

交通・移動手段（バス）・・・16 件 ●乗合バス等の充実 ●格安（無料）バス、福祉バス通学バス等の交通機関の整備をお願いします。でも自宅から自治センターへの移動も年齢によっては難しく、課題だと思います。（一人暮らし、介護（支援）の必要な方） ●自治センターに送迎用のマイクロバス等の移動手段が気軽に利用できるように、配置されると良いのではないかと。
交通・移動手段（タクシー）・・・15 件 ●情報アクセス…タクシー券、せらまちタクシー等について勉強会の開催。 ●自治センターから乗り合いタクシーを出す ●気軽に利用できるようにしてほしい。せらまちタクシーの便を増やす。
交通・移動手段（自家用車）・・・6 件 ●マッチングアプリのシステムを構築して Uber eats の車版のようなものをつくり、自治センターが中心になって、中心部に行きたいけど交通手段がなかったりして行けない人を効率よく連れて送迎できれば良いと思います。 ●この先、車の運転ができなくなった時、週 1、2 回位でも地域の自治センターから中心部への車の乗合があったらどうかと思います。が…。
交通・移動手段（その他）・・・17 件 ●町での移動手段が、いつでも、どこでも、だれでも、が気軽に使える乗り物があれば高齢になっても生活が安心できる。 ●町中心部の近くなので不便は感じないが、中心部外の高齢者は自治センターに相談すると、アセス協力してもらえる窓口を作る。 ●遠慮なく利用できるような体制にしてもらいたい。
小売りや行政サービス等へのアクセス・・・8 件 ●自治センターで移動販売をしてもらう。（週に 2、3 日程度など）自治センターに行けば買い物が出来るようにしてみてもどうか ●月に 1 回でも行政窓口が代行できる様になればいいのではないですか。 ●ネットやスマホで済むことのサポートサービスの実施
自治センターの活用（公共交通以外）・・・12 件 ●自治センターをもう少し利用しやすい、集まりやすい場所にできればいいと思います。 ●高齢者の関心が高い（興味が沸く）事を自治センターで月 1 回以上は開催する。 ●自治センターの内・外に誰でも自由に集えるスペースがあると良い。気楽に座って話したりお茶を飲んだり、休憩するスペースが欲しい。
利用しない等・・・5 件 ●自治センターへも遠いし、車へは乗れないし、活用することは出来ません。 ●自治センターと町中心部への距離がそこまで変わらないので、自治センターで何かサービスがあったとしても利用するかどうか分からない。
その他・・・23 件 ●将来、車に乗れなくなった時、生活自体が憂鬱になる。今は車があるから毎日買い物に行けるが、歩いて行ける範囲に何もなくて、自治センターまで 4 キロ以上あるのに行くとタクシー頼むのかと不安に思い町外に移りたいと考えてしまう。 ●それ以前に自治センターの在り方自体を見直すべきではないのか？役員に過剰に負担がかかり、その役員にも高齢化が進む。抜本的な見直しをお願いしたい。

2-3 日常の移動について

問8. あなたの世帯における自家用車の所有状況はどうか。(一つだけ)

自分で自由に使える自家用車がある回答者と、家族用の自家用車がある回答者は合わせて9割強を占めています。一方、自家用車を所有していない回答者は1割未満となっています。

年代別に見ると、70代以上で自家用車を所有していない回答が他の年代と比べて多くなっています。

【年代別】

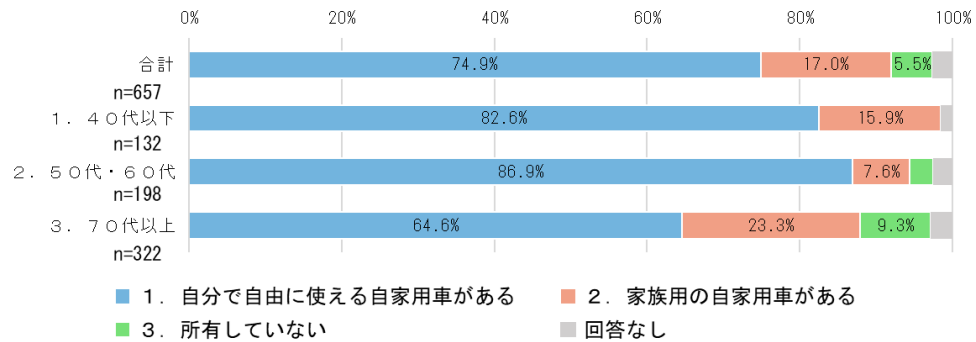


図 年代別 自家用車の所有状況

問9. 外出の際に気兼ねなく送迎してもらえる人がいますか。(一つだけ)

送迎者の有無は、「いる（同居の親族）」の回答が最も多く、また、送迎者が「いる（同居の親族）」、「いる（別居の親族）」、「いる（親族以外の知人等）」と答えた回答者は合わせて7割台半ばを占めています。一方、気兼ねなく送迎してもらえない人がいない回答者は2割弱となっています。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて、送迎してもらえない人がいない回答が多くなっています。

【年代別】

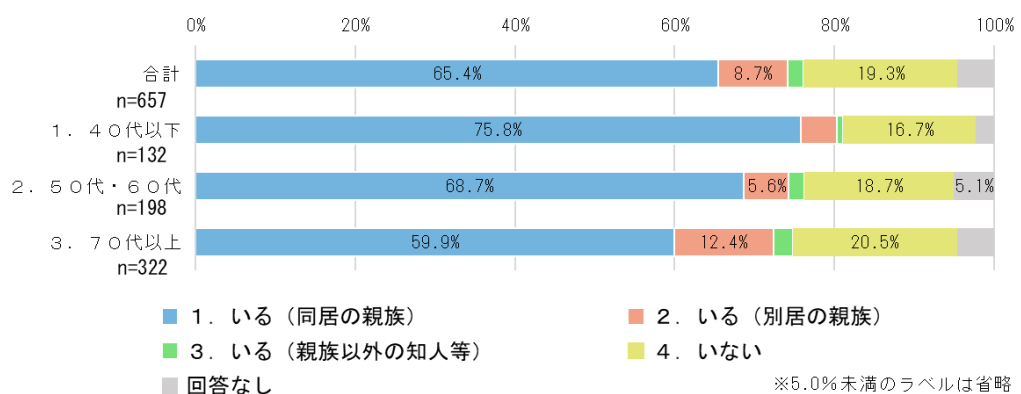


図 年代別 送迎者の有無

問10. 現在、町の乗合タクシー（せらまちタクシー）を利用していますか。（一つだけ）

せらまちタクシーの利用有無は、「利用していない」が9割弱を占めています。

一方、せらまちタクシーを利用している回答者は全体で1割未満となっていますが、地域別に見ると、旧世羅西では利用者が多く、甲山・大田では少ない状況です。

年代別にみると、**せらまちタクシーを利用している回答は、年代が上がるほど高くな**っています。

【年代別】

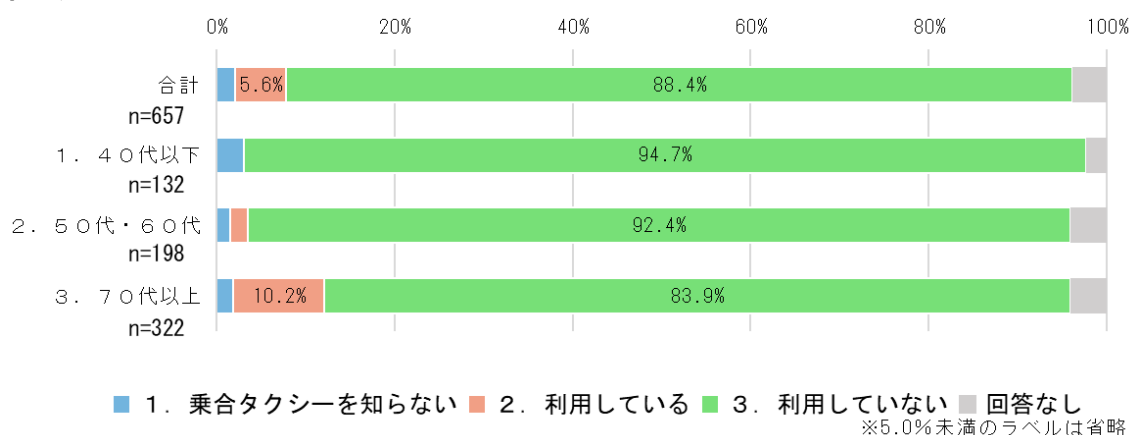


図 年代別 町の乗合タクシー（せらまちタクシー）の利用有無

問10-2 問10で「3. 利用していない」と回答した方にお伺いします。 現在、乗合タクシーを利用しない理由は何ですか。（一つだけ）

せらまちタクシーを利用していない理由としては、「必要ないから」が9割弱と大半を占めています。

年代別でも、すべての年代で「必要ないから」が最も大きい割合を占めていますが、70代以上では「運行時間帯が限られており自分が利用したい時間帯に間に合わないから」が相対的に多くを占めています。

【年代別】

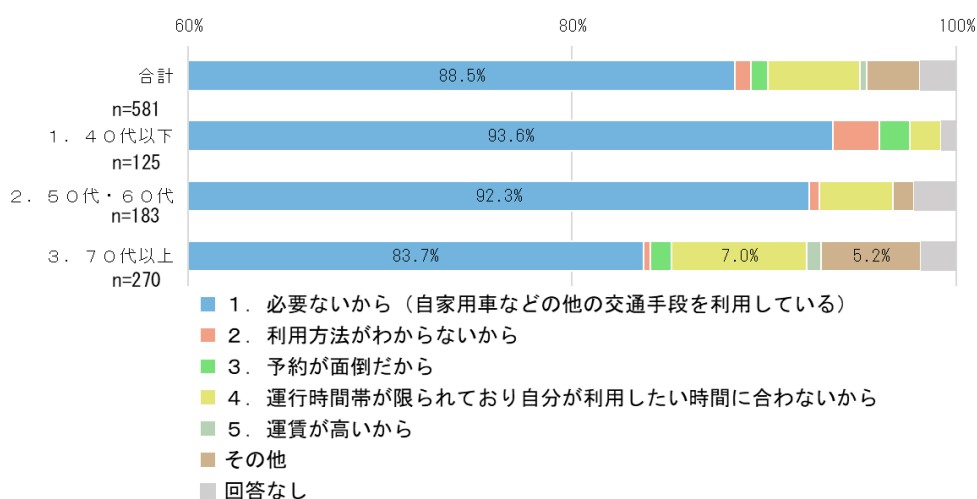


図 年代別 町の乗合タクシー（せらまちタクシー）を利用しない理由

問11. 徒歩による移動時間についてお伺いします。

スーパー、金融機関、医療施設、バス停などに徒歩で行こうとする場合、
何分まで（所要時間）であれば徒歩で行きますか。（一つだけ）

※歩行が困難な方は、1.を選んでください。

徒歩による移動時間は5～10分程度が3割台半ば、0～5分程度が2割弱を占めています。

地域別にみると、旧世羅西において、20分程度と答えた回答者の割合が相対的に高くなっています。

年代別にみると、70代以上では徒歩による移動時間が0～5分程度の回答が相対的に高くなっています。

【地域別】

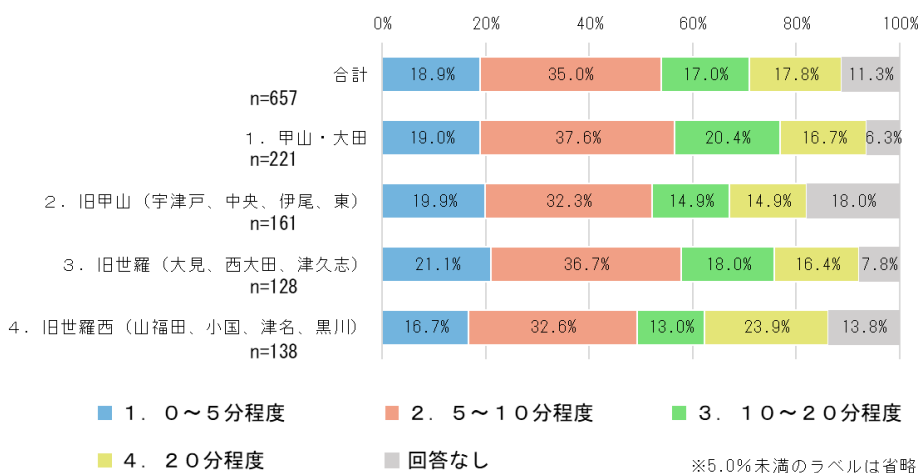


図 地域別 徒歩による移動時間

【年代別】

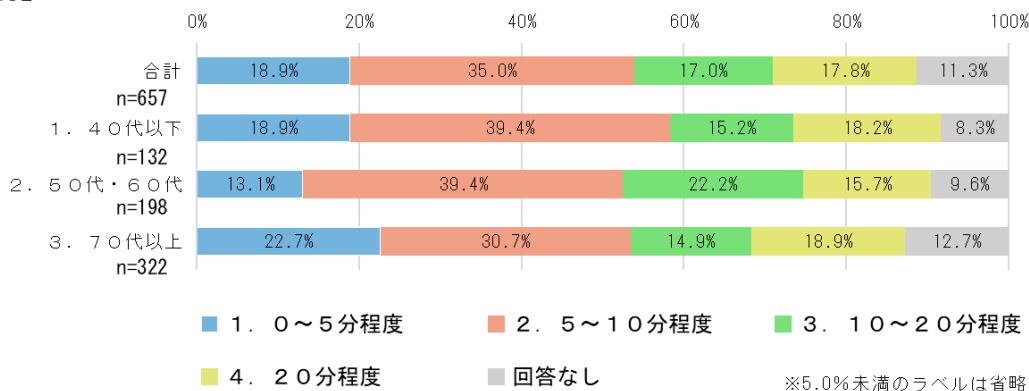


図 年代別 徒歩による移動時間

2-4 世羅町の居住と災害対策について

問12. 災害のおそれがある地域における、住まいや都市機能（医療、福祉・子育て、商業施設等の暮らしを支える施設）の立地の在り方について、あなたの考えに近いものはどれですか。（一つだけ）

「行政による防災対策には限界があるため、災害のおそれがある地域での新たな住まいや都市機能の立地は規制していくべき」と答えた回答者が最も多く、3割強を占めています。

一方、「災害のおそれがある地域であっても、住むかどうかは町民の判断とし、行政が規制すべきではない」との回答も2割弱を占めています。

地域別では、旧甲山町において、「災害のおそれがある地域の住まいや都市機能の集積を抑制すべき」との回答が相対的に多くなっています。

年代別では、40代以下において、「災害のおそれがある地域の住まいや都市機能の集積を抑制すべき」との回答が相対的に多くなっています。

【地域別】

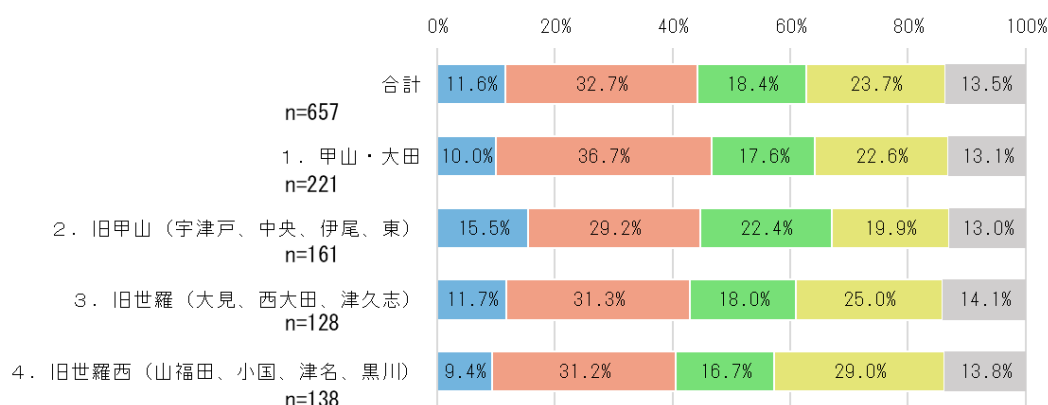
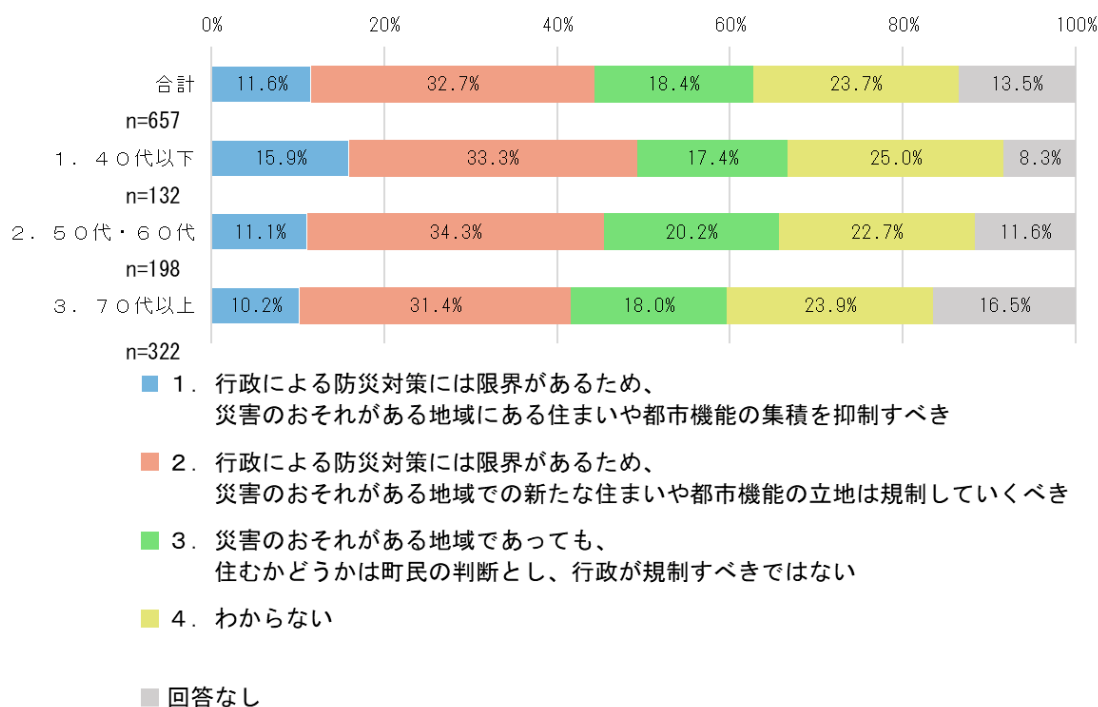


図 地域別 住まいや都市機能の立地の在り方について

【年代別】



※5.0%未満のラベルは省略

図 年代別 住まいや都市機能の立地の在り方について

2-5 これからの都市計画について

問13. コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりについて、ご意見がありましたらお聞かせください

この設問に対して、149 件の回答がありました。寄せられた意見等は、以下の通りです。なお、回答内容が複数のカテゴリに分かれる場合、回答内容を分割して各カテゴリ内に記載しています。

表 「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりについての意見（概要）

「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに賛成・・・6 件 ●「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに賛成です。世羅町がこれから先持続可能な町であるためには、中心地にある程度の人口や公共施設などが集まっている方がいいと思います。 ●とても良い考えだと思います。安心安全で暮らせる為に必要だと思います。
「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに対して慎重、否定的・・・17 件 ●都市計画区のみが集約しすぎて、外部地域は居住者が全くいなくなり、家や耕作地がなくなり山林は荒れてくる方向に行く様な気がする。 ●コンパクト・プラス・ネットワークの概要を見ましたが、私は反対です。何故なら、田舎特有の家と家との遠からずも近からずな距離感が、外部からの移住者にとって魅力の一つではないかと思うからです。
「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりに対して賛成とも反対とも言えない・・・9 件 ●コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの考え方も必要だが、世羅町では過疎・高齢化が深刻なため地域住民がいつまでも住み慣れた地域で生活してゆくための取り組みも必要。 ●古くからの概念で「生まれた地を離れたくない」意識があり、父、母と共に暮らした思い出もある。将来的には町もコンパクトにする必要がある事もよく理解できるが…。
拠点や今後維持・新設を希望する施設等について（中心部もしくは場所の言及無し）・・・14 件 ●個人的な意見ですが、三次市の市内地（サングリーン周辺）には全国展開の店舗がそれぞれ店を構えている（青山やメガネ店他）が、来客数はいずれも少ない現象があるので地域に集中して様々な店や施設を集めてもどうなのだろうと思う。東広島市の新しくできたゆめモール西条のようなクリニックと店舗の敷地が一体になったような複合型施設の方が賑わう気はします。
拠点や今後維持・新設を希望する施設等について（道の駅周辺）・・・2 件 ●道の駅の周辺等に公園、ドッグランなど観光資源を生かした町づくりを目指していけばいいと思いますが、どうでしょうか？
今後のまちづくりの全体的な方向性について・・・17 件 ●人の顔が見えるような繋がれる仕組みがほしい。 ●自助、共助、公助それぞれがバランス良く機能する町づくり。
「コンパクト・プラス・ネットワーク型」のまちづくりの進め方（手法、心構えなど）について・・・9 件 ●今時点で市街地に居住していない人たちに理解を得られる工夫をして頂きながら、そのまちづくりを進めていってもらえたらありがたいです。
道路や公共交通の維持・拡充を望む・・・15 件 ●病院や行政、スーパーなどがまとまっていることで、少ない移動で用事が短時間でできる点は良いが、高齢者が安心、安全に行き来できる移動手段が現時点では確保されていないように思う。車を自由に使用できない人は不便で、自身も高齢になった際、免許を返納できるか不安がある。
スーパーの維持・誘致等を望む・・・4 件 ●大型食料品店（スーパー）が世羅地区に集中しているが、甲山地区にもスーパー食料品、日用品の店があってほしい。現在あるスーパーは近いが商品がそろっていない為、不便である。
定住が進む・若者が住みやすいまちづくり、子育てしやすいまちづくりを望む・・・16 件 ●働く場を作って世羅町に人が集まるようにしないとどんどん人口が減っていくと思う。
その他（まちづくりや政策、地域に対しての意見）・・・15 件 ●空家の外は大きな草で火災に成った時は住んで居る家迄火災になりますので、空家をなんとかしてほしいと思います。
その他（本アンケートの趣旨からやや外れていると思われるが、まちづくりや政策、地域に対しての意見）・・・11 件 ●（将来）地域の維持の為に役員が多すぎる。生活するのにかえって負担になっている。役員の在り方見直しは、早急に考えてゆくべき事だと思います。
本アンケートや政策の進め方、情報開示について・・・16 件 ●どういったビジョンがあるのか、進捗はどうなっているのかなど定期的な共有、または情報の発信があれば興味を持つ人は増えるのではないのでしょうか（広報、SNS、HP、TV など）。私はこのアンケートを見るまで知りませんでした。

